

令和5年度【令和4年度事業】

# 砥部町教育委員会点検評価報告書



四 国 砥 部  
えひめ TOBE

令和5年9月

砥部町教育委員会

## I 砥部町教育大綱

誇りある地域、そして住み続けたいと思う魅力的なまちづくりを進めるためには、人づくりが大切です。本町に暮らす住民が、まちの現在と未来を担う大切な「力」であり、教育はその「力」を育む最も重要な営みです。

砥部町では、「まちづくり」は「人づくり」であるという理念に基づき、本町に暮らす住民一人ひとりが様々な学習や活動、交流を通じてお互いの基本的人権を尊重し、互いに学び合い高め合うまちを目指し、平成30年度から5年間の教育行政の方向を示す『第2次砥部町教育大綱』を策定しています。

大綱では、分野別に目標を設定し、目標実現に向けた政策方針、主要施策を次のとおり定め、学校・家庭・地域の連携体制を構築し、地域の文化や歴史、施設、人材など、地域の資源を最大限に活用した、生涯にわたり学び続けることのできる学習環境の整備を進めます。



### 子ども・教育分野



目標 1.未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します。

#### ■政策1 子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します。

子どもの健やかな成長を第一に考え、乳児保育、延長保育及び一時保育など、子育て支援事業の実施により、多様なニーズに対応できる保育サービスの充実を図り、子どもを産み育てやすい環境を整備します。

#### ■政策2 学校・家庭・地域が連携し、子どもの生きる力を育む環境づくりを推進します。

子どもたちが自らの力で未来へはばたくことができるよう、豊かな人間性や確かな学力、健やかな体などを育む教育を進めます。

#### 主要施策

- ① 子どもを産み育てやすい環境整備
- ② 子どもの健やかな成長支援の充実
- ③ 生きる力を育む教育の推進
- ④ 教育力の向上
- ⑤ 安全・安心の充実した教育環境の整備



目標 2.身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。

■政策1 地域で学ぶ生涯学習環境の整備を推進します。

生涯にわたって学び自己啓発を続けようとする意識の高まりに応じて、学ぶことができる生涯学習推進体制の整備を推進します。

■政策2 多様な主体が活躍できる社会を推進します。

住民一人ひとりの人権が尊重され、差別のない誰もが暮らしやすい社会を実現するため、お互いの人権を尊重し、様々な人が地域で活躍できる地域づくりを目指します。

■政策3 郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境づくりを推進します。

歴史及び文化を次世代に継承するため、伝統芸能や文化の保存、継承及び創造を図るとともに、本町が誇る文化財や歴史を積極的に発信し、文化的交流を進めます。

主要施策

- ① ニーズに合わせた学習機会の充実
- ② 活動の場づくりと担い手の充実
- ③ 互いの人権を尊重する社会の構築
- ④ 男女共同参画の推進
- ⑤ 文化財保護と継承
- ⑥ 文化財の活用
- ⑦ 地域伝統文化の継承



## 文化・スポーツ分野



目標 3.文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。

---

### ■政策1 文化・芸術を楽しむ機会の拡大を推進します。

住民主体の文化・芸術活動の活発化を一層促進するため、一流指導者の確保や、文化協会をはじめとする各種文化・芸術団体及び地域における指導者の育成を図ります。

### ■政策2 スポーツを楽しむための支援を推進します。

生涯スポーツの振興と競技スポーツの向上など、住民一人ひとりが豊かな人生を送れるよう、スポーツを楽しむ機会の充実を図ります。

#### 主要施策

- ① 文化・芸術活動への参加促進
- ② 文化・芸術活動を通じた交流の推進
- ③ ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ④ 地域における指導者の確保及び育成
- ⑤ スポーツを通じた交流の拡大

## II 教育委員会の事務の点検・評価制度の概要

### 1 趣旨

砥部町教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定に基づき、その権限に属する事務の管理・執行状況について、毎年、点検・評価を行い、報告書を作成しています。

点検・評価の実施により、効果的・効率的な教育行政の推進を図り、変化する社会経済情勢に適確に対応するとともに、職員の意識改革の向上を図ります。

なお、点検・評価の実施にあたり、外部の学識経験者の知見を活用するとともに、報告書を議会に提出、公表することにより、町民への説明責任を果たし、信頼関係を確保することとしています。

《地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）》

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 点検・評価の対象

令和 4 年度の事務事業を対象とし、大きく次の 2 区分とします。

- (1) 教育委員が直接に関与、及び活動している事業を「教育委員会の活動状況」とします。
- (2) 教育委員会が管理・執行している事務事業及び教育長に委任している事務を「教育委員会における事務の管理・執行状況」とします。

なお、「教育委員会における事務の管理・執行状況」は、令和 4 年度の事務事業を点検・評価したもので、「砥部町教育大綱」に掲げる主要施策ごとに分類しています。

### 3 点検・評価の方法

---

#### (1) 教育委員会による点検・評価

対象となる事業の実施状況、成果、課題等をまとめ、その妥当性、有効性及び効率性を総合的に判断し、事業の評価及び次年度以降の方向性について、次のとおり自己評価を行いました。

評価	S	目標とする成果を大きく上回った。
	A	目標とする成果をやや上回った。
	B	概ね目標とする成果であった。
	C	目標とする成果をやや下回った。
	D	目標とする成果を大きく下回った。

方向性	拡大	施策上の必要性や住民ニーズにより、さらに拡大・充実を図るもの
	維持	現状どおり事業を継続させることが妥当なもの
	縮小	サービスの供給又は費用が課題となっており、適正化を図るもの
	廃止	施策上の必要性や住民ニーズが減少し、廃止が妥当なもの

#### (2) 外部有識者による点検・評価

自己評価実施後、その客観性を確保するために、教育に関し学識経験を有する古田章氏（元伊予小学校長）に、主要施策別にご意見をいただきました。

### III 教育委員会の活動

#### 1 教育委員会の構成

教育委員会は、人格が温厚誠実で、学校、生涯学習及び文化等の教育に関し識見を有するもののうち、町長が町議会の同意を得て任命した教育長及び4人の教育委員により構成されています。

砥部町教育委員会委員(令和5年3月31日現在)

職名	氏名	任期	期数
教育長	大江 章吾	令和2年2月17日就任 令和8年2月16日満了	2期
委員 (教育長職務代理者)	篠原 弘康	令和4年2月17日就任 令和8年2月16日満了	2期
委員	丸本 正和	令和3年2月17日就任 令和7年2月16日満了	2期
委員	大西 三千枝	令和2年2月17日就任 令和6年2月16日満了	1期
委員	壽野 章子	令和5年2月17日就任 令和9年2月16日満了	1期

#### 2 教育委員会会議の運営状況

教育委員会会議（定例会、臨時会）の令和4年度における運営状況は次のとおりです。

- (1) 開催回数 16回（定例会12回/臨時会4回）
- (2) 議案件数 34件
- (3) 傍聴人 0人（累計）

#### 3 学校・幼稚園訪問

##### (1) 学校訪問

各学校の教育方針や学校経営の実情をもとに、学校教育推進上の諸問題について話し合い、これからの学校教育の推進を図るため、学校施設の状況視察及び授業を参観しました。

### 【訪問内容】

- ① 教育方針及び学校教育推進に伴う課題・問題（施設の管理・危機管理・サービスなど）について、説明を受け協議しました。
- ② 具体的な教育活動（児童生徒指導の実情と問題点）や特色ある教育活動などについて協議しました。

### (2) 幼稚園（こども園）訪問

幼稚園やこども園の運営を協議するため、施設訪問を実施しました。

訪問日	施設名	訪問日	施設名
5月23日	砥部中学校	5月30日	砥部小学校
6月1日	宮内小学校	6月20日	麻生小学校
6月27日	広田小学校	12月20日	幼稚園（こども園）

## 4 その他の活動状況

新型コロナウイルス感染症拡大に配慮して適切な方法で開催しました。

開催日	行事名等
4月4日	・新任教職員挨拶会【中央公民館】
4月7日	・山村留学センター入所式
4月11日	・小・中学校入学式
4月12日	・幼稚園・こども園入園式
6月30日	・砥部町小学校水泳記録会【宮内小学校】
9月21日	・砥部中学校運動会
9月25日	・広田小学校運動会
10月1日	・砥部こども園運動会
10月2日	・麻生・宮内幼稚園運動会
10月4日	・砥部町小学校陸上競技記録会【ニンジニアスタジアム】
10月16日	・砥部地区小学校運動会
11月19、20日	・芸術文化フェスタ
12月10日	・砥部町「人権の町づくり集会」【町文化会館】
12月22日	・砥部町総合教育会議【役場庁舎】
1月8日	・砥部町成人式【町文化会館】
3月17日	・砥部中学校卒業式
3月23日	・砥部地域小学校卒業式

3月24日	・ 広田小学校卒業式 ・ 山村留学センター退所式
3月29日	・ 教職員離任式【中央公民館】

## IV 教育委員会における事務の管理・執行状況

### 目 次

注1) 評価欄には、各施策別評価の「自己評価」を掲載しています。

施策	No.	評価対象事業名	担当係	評価	方向性	頁
【目標】 未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します。						
【主要施策】 子どもを産み育てやすい環境整備						
	1	就学援助事業	学校教育係	B	維持	11
	2	教育活動支援事業	学校教育係	B	維持	12
	3	奨学資金貸与事業	総務係	B	維持	13
	4	幼児教育推進事業	保育幼稚園係	B	拡大	14
【主要施策】 子どもの健やかな成長支援の充実						
	5	保健対策事業	学校教育係	B	維持	15
	6	特別支援教育推進事業	学校教育係	B	維持	16
	7	運動・体力向上推進事業	学校教育係	B	拡大	17
	8	地域の特性を生かす教育推進事業	学校教育係	B	維持	18
【主要施策】 生きる力を育む教育の推進						
	9	キャリア教育推進事業	学校教育係	C	拡大	19
	10	学校給食運営事業	給食センター係	B	維持	20
【主要施策】 教育力の向上						
	11	校務支援・業務改善事業	総務係・学校教育係	B	拡大	21
	12	教職員研修促進事業	総務係	B	維持	22
	13	学力向上推進事業	学校教育係	B	維持	23
	14	情報教育推進事業	学校教育係	B	維持	24
	15	外国語教育推進事業	総務係・学校教育係	C	拡大	25
	16	いじめ・不登校等対策事業	学校教育係	B	拡大	26
	17	山村留学センター運営事業	総務係	B	維持	27
	18	学校間連携推進事業	総務係	B	維持	28
【主要施策】 安全・安心の充実した教育環境の整備						
	19	学校施設整備・維持管理	総務係	B	維持	29
	20	学校安全対策事業	総務係	B	維持	30
	21	感染症対策事業	総務係	B	縮小	31

施策	No.	評価対象事業名	担当係	評価	方向性	頁
<b>【目標】身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。</b>						
<b>【主要施策】ニーズに合わせた学習機会の充実</b>						
	22	国際交流事業	社会教育係	B	維持	32
	23	公民館活動事業	公民館係	B	維持	33
	24	読書活動推進事業	社会教育係	B	維持	34
<b>【主要施策】活動の場づくりと担い手の充実</b>						
	25	公民館施設管理	公民館係	B	維持	35
	26	青少年健全育成事業	社会教育係	B	維持	36
<b>【主要施策】互いの人権を尊重する社会の構築</b>						
	27	人権教育・人権対策推進事業	社会教育係	B	維持	37
<b>【主要施策】男女共同参画の推進</b>						
	28	男女平等教育の推進	社会教育係	B	維持	38
<b>【主要施策】文化財保護と継承</b>						
	29	文化財保護事業	文化スポーツ係	B	維持	39
<b>【主要施策】文化財の活用</b>						
	30	文化財への理解促進	文化スポーツ係	B	維持	40
	31	坂村真民記念館	文化スポーツ係	B	維持	41
<b>【主要施策】地域伝統文化の継承</b>						
	32	地域伝統文化保存伝承事業	文化スポーツ係	B	維持	42
<b>【目標】文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。</b>						
<b>【主要施策】文化・芸術活動への参加促進</b>						
	33	文化会館管理運営	文化スポーツ係	B	維持	43
<b>【主要施策】文化・芸術活動を通じた交流の推進</b>						
	34	学習発表会	公民館係	B	維持	44
<b>【主要施策】ライフステージに応じたスポーツ活動の推進</b>						
	35	社会体育推進事業	文化スポーツ係	B	維持	45
	36	社会体育施設管理	文化スポーツ係	B	維持	46
<b>【主要施策】地域における指導者の確保及び育成</b>						
	37	スポーツ指導者確保及び育成	文化スポーツ係	B	維持	47
<b>【主要施策】スポーツを通じた交流の拡大</b>						
	38	レクリエーションスポーツ推進事業	文化スポーツ係	B	拡大	48

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

所管課名		学校教育課		担当係		学校教育係																																
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																																					
主要施策	子どもを産み育てやすい環境整備																																					
事業No.	1	事業名	就学援助事業			決算額	18,676,627円																															
事業目的	経済的な事由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費を助成し、負担軽減を図る。																																					
取組内容及び成果	1 要保護・準要保護児童生徒援助事業																																					
	(1) 支給総額 17,855,707円 (小学校：8,641,369円 中学校：9,214,338円)																																					
	(2) 対象者数																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区分</th> <th>年度</th> <th>全児童等数</th> <th>要保護</th> <th>準要保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小学校</td> <td>4年度</td> <td>1,039人</td> <td>5人</td> <td>129人</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>1,048人</td> <td>4人</td> <td>109人</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>1,053人</td> <td>4人</td> <td>101人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中学校</td> <td>4年度</td> <td>564人</td> <td>4人</td> <td>76人</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>597人</td> <td>4人</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>604人</td> <td>4人</td> <td>67人</td> </tr> </tbody> </table>							学校区分	年度	全児童等数	要保護	準要保護	小学校	4年度	1,039人	5人	129人	3年度	1,048人	4人	109人	2年度	1,053人	4人	101人	中学校	4年度	564人	4人	76人	3年度	597人	4人	69人	2年度	604人	4人	67人
	学校区分	年度	全児童等数	要保護	準要保護																																	
	小学校	4年度	1,039人	5人	129人																																	
		3年度	1,048人	4人	109人																																	
		2年度	1,053人	4人	101人																																	
	中学校	4年度	564人	4人	76人																																	
		3年度	597人	4人	69人																																	
2年度		604人	4人	67人																																		
(3) 補助対象品目																																						
学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、通学費、体育実技用具費、学校給食費、医療費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、卒業アルバム代																																						
2 特別支援教育就学奨励事業																																						
(1) 支給総額 820,920円 (小学校：479,911円 中学校：341,009円)																																						
(2) 対象者数 (特別支援学級在籍児童生徒) 小学校：16人(20人) 中学校：7人 (14人)																																						
自己評価	B	評価理由	入学説明会及び事業説明文書の配布により全保護者に事業を周知した。また、年度途中の転入時においても、学校教育課での手続き時に説明を行い、周知漏れを防ぐなど、支援が必要な児童生徒の保護者に対し援助を行った。																																			
方向性	維持																																					
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。																																					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係																																						
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																																										
主要施策	子どもを産み育てやすい環境整備																																										
事業No.	2	事業名	教育活動支援事業		決算額	3,666,062円																																					
事業目的	小中学校が校外で実施する各種教育活動に要する経費に対し、補助金を交付し、もって砥部町の教育振興、心豊かで潤いのある充実した生活の創造を図る。																																										
取組内容及び成果	1 少年自然の家利用助成事業 1,223,220円 実施場所 小学校 大三島少年自然の家、松山市野外活動センター 中学校 大洲青少年交流の家																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区分</th> <th>年度</th> <th>一般</th> <th>要・準要保護</th> <th>特支奨励対象</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小学校</td> <td>4年度</td> <td>141人</td> <td>23人</td> <td>2人</td> <td>788,569円</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>156人</td> <td>16人</td> <td>1人</td> <td>781,451円</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>154人</td> <td>20人</td> <td>2人</td> <td>785,955円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中学校</td> <td>4年度</td> <td>141人</td> <td>23人</td> <td>3人</td> <td>434,651円</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>136人</td> <td>21人</td> <td>2人</td> <td>316,840円</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>					学校区分	年度	一般	要・準要保護	特支奨励対象	補助金額	小学校	4年度	141人	23人	2人	788,569円	3年度	156人	16人	1人	781,451円	2年度	154人	20人	2人	785,955円	中学校	4年度	141人	23人	3人	434,651円	3年度	136人	21人	2人	316,840円	2年度	-	-	-	-
	学校区分	年度	一般	要・準要保護	特支奨励対象	補助金額																																					
	小学校	4年度	141人	23人	2人	788,569円																																					
		3年度	156人	16人	1人	781,451円																																					
		2年度	154人	20人	2人	785,955円																																					
	中学校	4年度	141人	23人	3人	434,651円																																					
		3年度	136人	21人	2人	316,840円																																					
		2年度	-	-	-	-																																					
	2 選手派遣費交付事業 2,442,842円																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>大会名</th> <th>補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校総合体育大会</td> <td>979,268円</td> <td>地区大会336人、県大会110人、四国大会9人</td> </tr> <tr> <td>全日本吹奏楽コンクール</td> <td>78,400円</td> <td>県大会 40人</td> </tr> <tr> <td>中学校新人体育大会</td> <td>1,242,380円</td> <td>地区大会 196人、県大会 96人</td> </tr> <tr> <td>全日本アンサンブルコンテスト</td> <td>142,794円</td> <td>県大会 27人 四国大会 4人</td> </tr> </tbody> </table>					大会名	補助金額	備考	中学校総合体育大会	979,268円	地区大会336人、県大会110人、四国大会9人	全日本吹奏楽コンクール	78,400円	県大会 40人	中学校新人体育大会	1,242,380円	地区大会 196人、県大会 96人	全日本アンサンブルコンテスト	142,794円	県大会 27人 四国大会 4人																								
大会名	補助金額	備考																																									
中学校総合体育大会	979,268円	地区大会336人、県大会110人、四国大会9人																																									
全日本吹奏楽コンクール	78,400円	県大会 40人																																									
中学校新人体育大会	1,242,380円	地区大会 196人、県大会 96人																																									
全日本アンサンブルコンテスト	142,794円	県大会 27人 四国大会 4人																																									
自己評価	B	評価理由	小中学校の集団学習活動は333人の児童生徒が、中学校の総合体育大会、新人大会等は818人の生徒が参加した。児童生徒が参加しやすい環境の整備に向けて、学校活動に対し適切に支援を行った。																																								
方向性	維持																																										
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。																																										

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係															
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																			
主要施策	子どもを産み育てやすい環境整備																			
事業No.	3	事業名	奨学資金貸与事業		貸与額															
					2,280,000円															
事業目的	経済的理由により就学が困難で、有用な人材の就学の機会を確保する。																			
取組内容及び成果	次に掲げる要件を備え、砥部町奨学資金奨学生選考委員会で採用された者に対し、奨学金を貸与した。																			
	<p>(1) 学校教育法に規定する高等学校又は高等専門学校第3学年までに在学する者</p> <p>(2) 学業・人物ともに優れ、かつ、健康な者</p> <p>(3) 学資の支弁が困難であると認められる者</p> <p>(4) 保護者が砥部町に居住する者</p> <p>(5) 未成年者</p> <p>1 貸与実績（4年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>貸与人数</th> <th>貸与上限月額</th> <th>貸与年額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>6人</td> <td>20,000円</td> <td>1,440,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>3人</td> <td>25,000円</td> <td>840,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 償還実績（4年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>償還者数</th> <th>償還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22人</td> <td>1,497,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 基金管理（基金運用状況）</p> <p>(1) 期首 30,818,130円（通帳残高 16,910,630円 未償還額 13,907,500円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸与金 2,280,000円</li> <li>・ 償還金 1,497,000円</li> <li>・ 利息 768円</li> </ul> <p>(2) 期末 30,818,898円（通帳残高 16,128,398円 未償還額 14,690,500円）</p>					区分	貸与人数	貸与上限月額	貸与年額	公立	6人	20,000円	1,440,000円	私立	3人	25,000円	840,000円	償還者数	償還額	22人
区分	貸与人数	貸与上限月額	貸与年額																	
公立	6人	20,000円	1,440,000円																	
私立	3人	25,000円	840,000円																	
償還者数	償還額																			
22人	1,497,000円																			
自己評価	B	評価理由	貸与事業において申請のあった9人全員に貸与を決定し、就学が困難な生徒に適切に支援を行った。また、償還管理についても適正に実施した。																	
方向性	維持																			
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。																			

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	子育て支援課	担当係	保育幼稚園係															
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																			
主要施策	子どもを産み育てやすい環境整備																			
事業No.	4	事業名	幼児教育推進事業		決算額	73,021,925円														
事業目的	町立幼稚園において、幼児を保育し、義務教育及びその後の教育の基礎を培い、幼児の健全な成長のために適当な環境を与えてその心身の発達の助長を図る。																			
取組内容及び成果	<p>1 幼稚園の運営</p> <p>コロナ対策を図りながらコロナ禍以前のように行事等を実施するよう、園での活動の充実に向け取り組んだ。</p> <p>(1) 預かり保育</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日数</th> <th>登録人数</th> <th>延べ利用人数</th> <th>1日当たりの利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>麻生幼稚園</td> <td>236日</td> <td>20人</td> <td>2,022人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>宮内幼稚園</td> <td>154日</td> <td>8人</td> <td>248人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 行事・園外保育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>七夕、夏祭り、秋祭り、節分、ひな祭りなど季節に合わせた伝統的な行事</li> <li>運動会、親子遠足、ハロウィンパーティー、発表会など親子で楽しめる行事</li> <li>ハートピアみなみ、児童館など地域との交流や、お話会、お茶会など外部講師による行事</li> </ul> <p>(3) 就学前教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国語や異文化に親しむ取組（ALT交流年6回実施、とべキッズ年9回実施）</li> <li>食育や人権教育、保幼小の架け橋プログラム実施に向けた取組</li> </ul> <p>2 幼児教育研修会</p> <p>教職員は研修を積極的に受講し、スキルアップに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園新規採用教員研修2名、キャリアアップ研修1名、その他各種課題別研修等受講</li> </ul>						実施日数	登録人数	延べ利用人数	1日当たりの利用人数	麻生幼稚園	236日	20人	2,022人	9人	宮内幼稚園	154日	8人	248人	2人
		実施日数	登録人数	延べ利用人数	1日当たりの利用人数															
麻生幼稚園	236日	20人	2,022人	9人																
宮内幼稚園	154日	8人	248人	2人																
自己評価	B	評価理由	<p>コロナ禍で創意工夫を凝らした教育課程を実践するため、通常保育以外においても、園行事や園外保育の充実を図るとともに、参観日等の行事や送迎時の情報交換等を通して、保護者との連携した保育に努めた。また、教職員の研修において、オンライン研修や対面研修に積極的に参加した。</p>																	
方向性	拡大																			
課題と取組み	<p>幼児期の教育においてもデジタル化に対応した教育が求められている。小学校でのデジタル教育への円滑な接続に向け、タブレットに親しむ教育を推進する。</p>																			

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係																											
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																															
主要施策	子どもの健やかな成長支援の充実																															
事業No.	5	事業名	保健対策事業		決算額	7,692,925円																										
事業目的	児童生徒及び教職員が、心身ともに健康で学校生活を送ることができるよう、病気等の早期発見・予防につなげる。																															
取組内容及び成果	<p>1 児童生徒健康診断</p> <p>学校保健安全法に基づき、定期健康診断、学校医による各種（内科・歯科・眼科・耳鼻咽喉科）検診を実施した。また、学校保健委員会を組織し、児童生徒の健康保持、増進を図った。</p> <p>(1) 費用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校医・学校薬剤師報酬 836,000円 出向料・技術料（検診） 2,174,500円</li> <li>・ 児童生徒健康診断委託料 2,584,989円 健康手帳印刷費 199,100円</li> <li>・ 伊予地区結核対策委員会 34,100円</li> </ul> <p>(2) 検査項目 尿、心電図、モアレ検査、小児生活習慣病予防健診、胸部X線検査、食事生活調査</p> <p>2 教職員健康診断</p> <p>(1) 費用 教職員健診委託料 1,698,516円 ストレスチェック委託料 93,720円</p> <p>(2) 検査項目 健康診断、尿、心電図、血液、眼底、胃がん、大腸がん、ストレスチェック</p> <p>3 教室の開催</p> <p>生命誕生のしくみや生命の連続性について理解し、自他共に生命を大切にしようという気持ちを深めるため、思春期教室を開催した。</p> <p>(1) 講師 県立医療技術大学 中越利佳、井上明子</p> <p>(2) 開催内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>演 題</th> <th>参 加 者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>麻生小学校</td> <td>10月21日</td> <td>「生きているだけで100点満点!! ~すてきないのち・輝くいのち~」</td> <td>5年生66人、教職員</td> </tr> <tr> <td>宮内小学校</td> <td>10月24日</td> <td>「命の誕生」</td> <td>5年生52人、教職員</td> </tr> <tr> <td>砥部小学校</td> <td>10月28日</td> <td>「生命の誕生」</td> <td>5年生55人、教職員</td> </tr> <tr> <td>広田小学校</td> <td>10月17日</td> <td>「思春期の心とからだ」</td> <td>5・6年生11人、教職員</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">砥部中学校</td> <td>6月29日</td> <td>「中学3年生のあなたに伝えたいこと 性を大切に」 -大切な自分と相手を守るために-</td> <td>3年生200人、教職員</td> </tr> <tr> <td>11月16日</td> <td>「生命誕生・男女交際」</td> <td>1年生163人、教職員</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 費用 思春期教室講師謝礼72,000円(麻生・宮内・砥部・広田小学校、砥部中学校)</p>						実施日	演 題	参 加 者	麻生小学校	10月21日	「生きているだけで100点満点!! ~すてきないのち・輝くいのち~」	5年生66人、教職員	宮内小学校	10月24日	「命の誕生」	5年生52人、教職員	砥部小学校	10月28日	「生命の誕生」	5年生55人、教職員	広田小学校	10月17日	「思春期の心とからだ」	5・6年生11人、教職員	砥部中学校	6月29日	「中学3年生のあなたに伝えたいこと 性を大切に」 -大切な自分と相手を守るために-	3年生200人、教職員	11月16日	「生命誕生・男女交際」	1年生163人、教職員
		実施日	演 題	参 加 者																												
麻生小学校	10月21日	「生きているだけで100点満点!! ~すてきないのち・輝くいのち~」	5年生66人、教職員																													
宮内小学校	10月24日	「命の誕生」	5年生52人、教職員																													
砥部小学校	10月28日	「生命の誕生」	5年生55人、教職員																													
広田小学校	10月17日	「思春期の心とからだ」	5・6年生11人、教職員																													
砥部中学校	6月29日	「中学3年生のあなたに伝えたいこと 性を大切に」 -大切な自分と相手を守るために-	3年生200人、教職員																													
	11月16日	「生命誕生・男女交際」	1年生163人、教職員																													
自己評価	B	評価理由	児童生徒、教職員の健康診断を実施するとともに、自他共に生命を大切にしようという気持ちを深めるための思春期教室を実施し、心身ともに健康な学校生活を送るための環境を確保した。																													
方向性	維持																															
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。																															

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

	所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。			
主要施策	子どもの健やかな成長支援の充実			

事業No.	6	事業名	特別支援教育推進事業	決算額	36,388,855円
-------	---	-----	------------	-----	-------------

事業目的	支援を要する全ての幼児及び児童生徒が豊かに学校生活を送れるように具体的な支援を行なう。
------	---

取 組 内 容 及 び 成 果	1 教育支援委員会	特別支援学級への入級、学校生活支援員配置、通級指導の可否等の就学に必要な事項を審議した。																																			
	(1) 教育支援委員会会議開催回数 2回 (審議対象者数 50人 委員報酬 14,000円)																																				
	(2) 教育相談開催回数 2回 (相談者数 51人 相談員謝礼等 78,366円)																																				
	(3) 発達検査回数 9回 (検査対象者数 9人 発達検査員謝礼 50,000円・検査用紙 16,896円)																																				
	2 巡回相談	特別支援教育士等による巡回相談を実施し、学校等における日常の授業等を観察して、発達の遅れやその心配のある対象者への効果的な支援及び指導の在り方についてアドバイスした。																																			
	(1) 巡回相談員派遣日数 38日 (対象者数 132人 相談員謝礼 384,000円)																																				
	3 特別支援連携協議会	特別支援連携協議会を開催し、関係機関の連携、研修会の実施による教職員の資質向上、保護者理解の促進を図った。																																			
	(1) 開催回数 3回 (講師謝礼 8,000円)																																				
	(2) 特別支援教育周知講演会開催回数 2回 (講師謝礼 10,000円)																																				
	4 学校生活支援員配置	※ ( ) は対象児童生徒数																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">幼稚園</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>3人</td> <td>(4人)</td> <td>22人</td> <td>(39人)</td> <td>3人</td> <td>(3人)</td> <td>28人</td> <td>(46人)</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>3人</td> <td>(4人)</td> <td>20人</td> <td>(33人)</td> <td>3人</td> <td>(3人)</td> <td>26人</td> <td>(40人)</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>1人</td> <td>(2人)</td> <td>21人</td> <td>(29人)</td> <td>1人</td> <td>(1人)</td> <td>23人</td> <td>(32人)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	幼稚園		小学校		中学校		合計		4年度	3人	(4人)	22人	(39人)	3人	(3人)	28人	(46人)	3年度	3人	(4人)	20人	(33人)	3人	(3人)	26人	(40人)	2年度	1人	(2人)	21人	(29人)	1人	(1人)	23人	(32人)
年度	幼稚園		小学校		中学校		合計																														
4年度	3人	(4人)	22人	(39人)	3人	(3人)	28人	(46人)																													
3年度	3人	(4人)	20人	(33人)	3人	(3人)	26人	(40人)																													
2年度	1人	(2人)	21人	(29人)	1人	(1人)	23人	(32人)																													
(1) 費用																																					
・ 支援員報酬等 33,523,216円 旅費 33,097円																																					
・ 旅費 33,097円																																					
5 医療的ケア	日常的に医療的ケアを必要とする特別支援学級在籍児童の学校での支援について訪問看護事業所より学校に看護師を配置し、医療的ケアを安全に提供できる環境整備を図った。																																				
(1) 医療的ケア児支援業務 (派遣日数 84日 派遣時間 356時間 委託料2,271,280円)																																					

自己評価	B	評価理由	相談事業により、特別な支援が必要と思われる児童生徒の現状を把握し、当該児童生徒の状態に応じた支援を行った。また、学校生活の見守り支援が必要な児童生徒に対しては、学校生活支援員を配置し適切に支援を行った。
------	---	------	---

方向性	維持
-----	----

課題と取り組み	現行の取り組みを継続して実施する。
---------	-------------------

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	子どもの健やかな成長支援の充実					
事業No.	7	事業名	運動・体力向上推進事業		決算額	266,103円
事業目的	子どもの心身の健康や体力の向上を図り、楽しさや喜びを味わうことのできる体育の授業やクラブ活動、運動部活動の充実を図る。					
取組内容及び成果	<p>1 小学校水泳大会、陸上競技大会</p> <p>(1) 水泳大会（6年生）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催日 6月30日</li> <li>・ 場所 宮内小学校</li> <li>・ 標準記録突破者数 9人</li> <li>・ 費用 101,537円（消耗品、自動車借上料）</li> </ul> <p>(2) 陸上競技大会（6年生）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催日 10月4日</li> <li>・ 場所 ニンジニアスタジアム</li> <li>・ 標準記録突破者数 19人</li> <li>・ 費用 113,386円（消耗品、会場使用料、自動車借上料）</li> </ul> <p>(3) 上位大会の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 費用 51,180円（自動車借上料）</li> <li>・ 伊予地区水泳大会（中止）</li> <li>・ 伊予地区陸上大会入賞者 9人、リレー入賞 1チーム</li> <li>・ 県陸上大会（伊予地区4位以上）出場者 6人、リレー 1チーム</li> </ul> <p>2 中学校運動部活動</p> <p>(1) 運動部数（部員数）18部（360人（男子 204人/女子 156人））</p> <p>(2) 種別 軟式野球、ソフトボール、ソフトテニス、バスケットボール、バレーボール、卓球、剣道、柔道、陸上競技、バドミントン</p> <p>(3) 砥部町立中学校における運動部活動の方針</p> <p>生徒及び教職員双方の負担を考慮し、持続可能な運動部活動の方針を示した。</p> <p>幼児期の教育においてもデジタル化に対応した教育が求められている。小学校でのデジタル教育へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動時間 平日2時間、休業日3時間程度</li> </ul>					
自己評価	B	評価理由	水泳大会、陸上大会の練習を通じて、体力向上を図った。また、各校においては体力向上推進計画に基づき、各校の課題に取り組んだ。			
方向性	拡大					
課題と取組み	体力の維持向上のためには家庭での取り組みの強化が求められている。家庭において基礎体力の向上を図るため、えひめ子どもスポーツITスタジアムを活用する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。				
主要施策	子どもの健やかな成長支援の充実				
事業No.	8	事業名	地域の特性を生かす教育推進事業	決算額	950,000円
事業目的	自然、歴史、文化などの地域の特性を生かした特色ある教育活動を推進し、心豊かで潤いのある充実した生活の創造を図る。				
取 組 内 容 及 び 成 果	1 特色のある教育活動への助成 小・中学校の個性ある取組みを円滑かつ効果的に実施するため、次の活動に対し、交付金を交付した。				
	(1) 地域の歴史、文化、自然を生かす活動				
	(2) 地域に根ざした勤労、奉仕を体験する活動				
	(3) 交流の輪を広げる活動				
	(4) 学校、地域の伝統を築く活動				
	(5) その他学校、地域の特性を生かす活動				
	2 交付額				
	(1) 砥部地域小学校 各200,000円				
	(2) 広田小学校 100,000円				
	(3) 砥部中学校 250,000円				
3 学校別事業内容					
		校名	内容		
		麻生小	環境学習、地域交流、校区探検、福祉学習、砥部焼学習、栽培活動		
		宮内小	幼児・高齢者との交流、地域探検、米作り体験、キャリア教育、花・野菜栽培		
		砥部小	働く人に学ぶ学習、地域の伝統文化・歴史調査、野菜・米作り体験		
		広田小	野菜・米作り、砥部焼作り、伝統芸能（太鼓・万歳）、オペレッタ発表		
		砥部中	総合的な学習（町の実態学習、人権学習、職場体験学習）		
自己評価	B	評価理由	交付金を有効に活用し、SDG s を意識して地域資源を活用した教育を展開した。		
方向性	維持				
課題と取組み	現行の取組みを継続して実施する。				

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

所管課名		学校教育課		担当係		学校教育係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。						
主要施策	生きる力を育む教育の推進						
事業No.	9	事業名	キャリア教育推進事業			決算額	—
事業目的	中学2年生を対象に、地域での職場体験学習を通じ、郷土への理解を深めるとともに、生徒のコミュニケーション能力や勤労観を育み、社会性を涵養する。						
取組内容及び成果	<p>1 えひめジョブチャレンジU-15事業</p> <p>砥部町教育委員会に登録されている協力事業所等で職場体験学習を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響、事業所の数や規模の問題もあり、5日間実施できない生徒もいた。</p> <p>(1) 実施日 10月17日～10月21日の5日間</p> <p>(2) 参加人数 中学校2年生 161人</p> <p>(3) 協力事業所 52社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービス業 21社</li> <li>・ 建設・不動産業 3社</li> <li>・ 製造業 4社</li> <li>・ 流通小売業 7社</li> <li>・ 園・学校等 9校</li> <li>・ 官公庁 8機関</li> </ul>						
自己評価	C	評価理由	52社の協力により体験事業に取り組むことで生徒の勤労観を育むことができた。しかし、様々な事情により、対象者全員が5日間の体験学習を実施することができなかった。				
方向性	拡大						
課題と取組み	受入事業所を拡充するため、学校及び地域との連携によって新規受入事業所の開拓を図る。						

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	給食センター係																																
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																																				
主要施策	生きる力を育む教育の推進																																				
事業No.	10	事業名	学校給食運営事業		決算額	180,503,730円																															
事業目的	調理業務を衛生的かつ円滑、効果的に実施し、栄養バランスのとれた安全で安心な給食を提供する。																																				
取 組 内 容 及 び 成 果	1 学校給食センター運営委員会 学期ごとに学校給食センター運営委員会を開催し、学校給食の取り組み状況を報告するとともに、物資の価格や地産地消の推進について協議を行った。																																				
	2 給食調理 (1) 実施回数 192回/年 食数 1,913人/日 (2) 給食費（学校給食材料費負担金） 66,577,401円 ※給食センター管理費に充当																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>幼稚園</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1食あたり</td> <td>235円</td> <td>250円</td> <td>290円</td> </tr> </tbody> </table> ※平成29年4月改定						幼稚園	小学校	中学校	1食あたり	235円	250円	290円																								
		幼稚園	小学校	中学校																																	
	1食あたり	235円	250円	290円																																	
	3 運営経費 (単位：円)																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人件費</th> <th>消耗品費</th> <th>燃料/光熱水費</th> <th>賄材料費</th> <th>修繕/工事費</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>52,904,912</td> <td>4,222,880</td> <td>21,487,293</td> <td>87,815,458</td> <td>2,060,667</td> <td>12,012,520</td> <td>180,503,730</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>50,077,580</td> <td>4,784,844</td> <td>17,692,650</td> <td>92,918,550</td> <td>2,534,730</td> <td>9,445,406</td> <td>177,453,760</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>52,663,932</td> <td>4,188,726</td> <td>16,183,930</td> <td>86,153,741</td> <td>2,071,297</td> <td>11,566,612</td> <td>172,828,238</td> </tr> </tbody> </table>					年度	人件費	消耗品費	燃料/光熱水費	賄材料費	修繕/工事費	その他	計	4年度	52,904,912	4,222,880	21,487,293	87,815,458	2,060,667	12,012,520	180,503,730	3年度	50,077,580	4,784,844	17,692,650	92,918,550	2,534,730	9,445,406	177,453,760	2年度	52,663,932	4,188,726	16,183,930	86,153,741	2,071,297	11,566,612	172,828,238
	年度	人件費	消耗品費	燃料/光熱水費	賄材料費	修繕/工事費	その他	計																													
	4年度	52,904,912	4,222,880	21,487,293	87,815,458	2,060,667	12,012,520	180,503,730																													
	3年度	50,077,580	4,784,844	17,692,650	92,918,550	2,534,730	9,445,406	177,453,760																													
2年度	52,663,932	4,188,726	16,183,930	86,153,741	2,071,297	11,566,612	172,828,238																														
4 地産地消の推進（町内産物資の状況） (1) 購入額合計 4,649,792円 (2) 物資種類 干しいたけ、ほうれん草、玉ねぎ、キャベツ、米、七折梅など																																					
5 給食材料費負担金減免事業（保護者負担の軽減） 物価高騰等によって影響を受けている保護者の負担を軽減するため、第3学期について、園児・児童・生徒分の給食材料費負担金を全額免除し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当しました。																																					
自己評価	B	評価理由	幼稚園から中学校までの成長期の子供たちに対し、発育段階に応じた栄養豊かな給食を事故なく提供するとともに、県学校給食会を通じ、可能な限り町内産の米を確保し、地産地消を推進する等、栄養バランスのとれた安全で安心な給食の提供を行った。																																		
方向性	維持																																				
課題と取り組み	現行の取り組みを継続して実施する。																																				

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係・学校教育係																				
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																								
主要施策	教育力の向上																								
事業No.	11	事業名	校務支援・業務改善事業		決算額	21,373,483円																			
事業目的	教職員一人ひとりに校務用PCを配備し、効率の良い校務環境を提供するとともに、社会問題化している教職員の長時間勤務の改善を図る。																								
取組内容及び成果	<p>1 校務用PCの配備 教育委員会1台 小学校89台 中学校60台（校務支援システム含む）</p> <p>(1) リース期間 令和2年8月～令和7年7月（5年間リース）</p> <p>(2) 支払総額 91,608,000円（うち4年度分18,321,600円）</p> <p>2 愛媛スクールネット（ES-net）の活用</p> <p>県下の小中学校等を結ぶ愛媛の教育専用ネットワークに参画し、インターネットによる情報の収集・発信の手段として校務事務に活用した。</p> <p>(1) 回線利用料 435,600円</p> <p>3 学校閉庁日の設定</p> <p>学校業務閑散期となる8月中旬に学校閉庁日を設け、教職員の休暇取得を促すことにより、心身の健康増進や地域活動等へ参画しやすい体制整備を図った。</p> <p>(1) 実施期間 8月10日(水)～15日(月)</p> <p>4 スクール・サポート・スタッフの配置</p> <p>教材の作成など、教員の事務を補助するスクール・サポート・スタッフを砥部地区の小中学校3校に配置し、相談体制を充実させたことにより、教員の負担軽減に繋げることができた。</p> <p style="text-align: right;">（期末手当、通勤手当含む）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>延べ配置日数</th> <th>延べ配置時間</th> <th>人件費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>麻生小学校</td> <td>207日</td> <td>828時間</td> <td>898,190円</td> </tr> <tr> <td>宮内小学校</td> <td>205日</td> <td>820時間</td> <td>889,402円</td> </tr> <tr> <td>砥部小学校</td> <td>187日</td> <td>748時間</td> <td>828,691円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>599日</td> <td>2,396時間</td> <td>2,616,283円</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	延べ配置日数	延べ配置時間	人件費	麻生小学校	207日	828時間	898,190円	宮内小学校	205日	820時間	889,402円	砥部小学校	187日	748時間	828,691円	合計	599日	2,396時間	2,616,283円
学校名	延べ配置日数	延べ配置時間	人件費																						
麻生小学校	207日	828時間	898,190円																						
宮内小学校	205日	820時間	889,402円																						
砥部小学校	187日	748時間	828,691円																						
合計	599日	2,396時間	2,616,283円																						
自己評価	B	評価理由	校務支援ソフトウェアやスクール・サポート・スタッフの配置等により教職員の業務負担軽減に努めた。																						
方向性	拡大																								
課題と取組み	令和4年度の調査では教職員の在校時間が10時間40分程度であった。教職員の在校時間の縮減を図るため、更なる業務の効率化及び地域連携事業を推進する。																								

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係																	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																					
主要施策	教育力の向上																					
事業No.	12	事業名	教職員研修促進事業		決算額	—																
事業目的	町又は学校独自に研究授業や研修を実施し、教職員の指導力向上、綱紀保持及び服務規律の徹底を図る。																					
取組内容及び成果	1 校内研修会の実施																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>麻生小</th> <th>宮内小</th> <th>砥部小</th> <th>広田小</th> <th>砥部中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>6回</td> <td>3回</td> <td>4回</td> <td>1回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>延べ参加者数</td> <td>142人</td> <td>83人</td> <td>69人</td> <td>6人</td> <td>90人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 普通救命講習(講師：砥部消防署 AED使用方法等)  (2) タブレット研修(講師：県総合教育センター指導主事 タブレット端末等を活用した授業改善)  (3) 中予教育事務所小中学校フォローアップ研修(講師：中予教育事務所指導主事)  (4) 校内授業研究会(講師：中予教育事務所指導主事、県総合教育センター)</p>					種別	麻生小	宮内小	砥部小	広田小	砥部中	開催回数	6回	3回	4回	1回	3回	延べ参加者数	142人	83人	69人	6人
種別	麻生小	宮内小	砥部小	広田小	砥部中																	
開催回数	6回	3回	4回	1回	3回																	
延べ参加者数	142人	83人	69人	6人	90人																	
	2 外部講師を招へいせず実施した研修等 ICT活用研修 道徳科の評価 特別支援教育(配慮を要する児童) 学力向上 コンプライアンス研修 人権・同和教育研修 など																					
自己評価	B	評価理由	リモートで実施するなど感染対策をとりながら、各学校内で工夫をこらして研修を行うとともに、県教委や教育関係機関が実施する研修会等に参加するなど、各校において指導力向上のため研修を行った。																			
方向性	維持																					
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。																					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。				
主要施策	教育力の向上				
事業No.	13	事業名	学力向上推進事業	決算額	750,456円
事業目的	教育・学習指導の課題を明らかにし、今後の教育内容の改善及び学力の向上を図る。				
取組内容及び成果	<p>1 砥部町学力向上推進委員会 町内児童生徒の学力向上を目的に、全国学力・学習状況調査等の調査結果及び各校が実施する学校評価の分析を行うとともに、推進教員が先進校視察による報告会を行い、各校においては授業研究会を行った。</p> <p>(1) 開催回数 4回（委員会1回、実践活動部会3回）</p> <p>2 学力診断テストの実施 町内児童生徒の学習定着を判断するため、町単独予算での学力診断テストを実施した。</p> <p>(1) 対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校 3～4年生（国語、算数、社会、理科）</li> <li>・ 中学校 1年生（国語、数学、社会、理科）</li> <li style="padding-left: 2em;">2～3年生（国語、数学、社会、理科、英語）</li> </ul> <p>(2) 経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校 501,798円</li> <li>・ 中学校 248,658円</li> </ul> <p>(3) テスト結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校 3～4年生（国語、算数、社会、理科）</li> <li style="padding-left: 2em;">全教科において全国平均を下回っている。</li> </ul>				
自己評価	B	評価理由	学力診断テストの結果を分析し学力向上推進委員会を通じて効果的な指導を行うとともに、各学校の学力向上推進主任で構成する実践活動部会が中心となり、授業公開を進めるなど、授業力の向上に努めた。		
方向性	維持				
課題と取組み	標準学力調査（小学校3～4年生）の結果が全国平均を下回った。学力の基礎となる文章の読解力を向上させるため、新聞アプリ等の活用を推進する。				

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	教育力の向上					
事業No.	14	事業名	情報教育推進事業		決算額	6,796,600円
事業目的	コンピューターに慣れ親しみ、情報や情報手段を主体的に選択し活用していくために必要な情報活用能力を育成し、児童生徒の確かな学力の定着向上を図る。					
取組内容及び成果	<p>1 GIGAスクール構想への対応</p> <p>タブレット端末を活用した授業の支援や教職員への研修、また教材作成等の支援ができる支援員を配置するなど、本町のICT教育を推進した。</p> <p>(1) ICT支援員の配置（1人） 5,702,400円</p> <p>《参考》</p> <p>タブレット端末総台数 1,817台</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校 1,158台</li> <li>・ 中学校 659台</li> </ul> <p>(2) 愛媛新聞forスタディの活用 660,000円</p> <p>子ども用デジタル版新聞を活用し、社会情勢変の関心や新聞を読むことで情報活用能力の育成を図った。</p> <p>(3) 愛媛県学習支援システム（EILIS）の活用 300,000円</p> <p>デジタル版のテストやドリルなど実施できるシステムを活用し、効率的な学習活動に取り組んだ。</p> <p>(4) 遠隔授業用Webカメラ等購入 134,200円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遠隔授業用Webカメラ 20台（4台×5校） 111,100円</li> <li>・ 卓上カメラスタンド 15台（3台×5校） 23,100円</li> </ul>					
自己評価	B	評価理由	ICT支援員の配置やタブレットを利用した教材の活用に取り組んだ。また、遠隔授業用Webカメラを購入して遠隔授業を試行的に実施した。			
方向性	維持					
課題と取組み	教員の技術力によって新聞アプリやEilis（エイリス）の活用に差がある。教員間技術格差を是正するため、ICT支援員を活用し、研修の充実を図る。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

所管課名		学校教育課		担当係		総務係・学校教育係																																	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																																						
主要施策	教育力の向上																																						
事業No.	15	事業名	外国語教育推進事業			決算額	12,235,960円																																
事業目的	外国語教育を充実させて、コミュニケーション能力を育成する。																																						
取組内容及び成果	<p>1 外国語指導助手の配置</p> <p>外国語指導助手を3人配置し、外国語活動や英語教育、国際理解教育を充実させた。</p> <p>(1) 報酬等(3人分) 12,027,960円</p> <p>(2) 派遣時間【小学校】9:00～16:00【中学校】9:00～16:00 【保育所・幼稚園】8:30～14:00 ※認定こども園含む。</p> <p>(3) 派遣日数延べ日数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>保・幼</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>19日</td> <td>410日</td> <td>135日</td> <td>564日</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>35日</td> <td>465日</td> <td>81日</td> <td>581日</td> </tr> </tbody> </table>							年度	保・幼	小学校	中学校	合計	4年度	19日	410日	135日	564日	3年度	35日	465日	81日	581日																	
	年度	保・幼	小学校	中学校	合計																																		
	4年度	19日	410日	135日	564日																																		
	3年度	35日	465日	81日	581日																																		
<p>2 中学生英語検定料の助成</p> <p>中学生を対象に英語検定料の一部(検定料の2分の1以内、上限2,000円、1年度に1度限り)を助成し、英語検定試験にチャレンジすることで、英語能力の向上を図った。</p> <p>(1) 対象者 英検3級以上を受験した町内に住所を有する中学生の保護者 104人</p> <p>(2) 交付実績 208,000円</p> <p>(3) 受験結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>準1級</th> <th>2級</th> <th>準2級</th> <th>3級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">4</td> <td>受験者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>13人</td> <td>91人</td> <td>104人</td> </tr> <tr> <td>合格者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>10人</td> <td>62人</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td>受験者</td> <td>2人</td> <td>6人</td> <td>26人</td> <td>75人</td> <td>109人</td> </tr> <tr> <td>合格者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>13人</td> <td>54人</td> <td>67人</td> </tr> </tbody> </table>							年度	区分	準1級	2級	準2級	3級	合計	4	受験者	0人	0人	13人	91人	104人	合格者	0人	0人	10人	62人	72人	3	受験者	2人	6人	26人	75人	109人	合格者	0人	0人	13人	54人	67人
年度	区分	準1級	2級	準2級	3級	合計																																	
4	受験者	0人	0人	13人	91人	104人																																	
	合格者	0人	0人	10人	62人	72人																																	
3	受験者	2人	6人	26人	75人	109人																																	
	合格者	0人	0人	13人	54人	67人																																	
自己評価	C	評価理由	英語検定試験の受験料補助において、3級の合格者は増加しているものの、上位級への受験者が減少した。																																				
方向性	拡大																																						
課題と取組み	受検者が全体の5分の1程度である。英語検定受検者の増加を目指し、補助金額を見直すなど受験し易い環境を整備する。																																						

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	教育力の向上					
事業No.	16	事業名	いじめ・不登校等対策事業		決算額	2,401,349円
事業目的	いじめ、不登校等の諸問題に対応するため、相談員等の体制整備を図り、保護者や児童生徒への相談、教職員への指導助言を行い、児童生徒の健全育成を図る。					
取組内容及び成果	1 ハートなんでも相談員の配置 2人 ※小学校のみ					
	(1) 派遣日数 140日					
	(2) 勤務時間 560時間 ※4校巡回	4年度	3年度	増減		
	(3) 費用 560,000円	相談件数	468件	483件	▲ 15件	
取組内容及び成果	2 スクールカウンセラーの配置 1人 (県より派遣) ※中学校のみ					
	(1) 配置日数 39日					
	(2) 相談人数 延べ320人	4年度	3年度	増減		
		相談件数	320件	337件	▲ 17件	
取組内容及び成果	3 スクールソーシャルワーカーの配置 2人					
	(1) 配置日数 190日					
	(2) 相談件数 97件		4年度	3年度	増減	
	(3) 費用 1,440,000円	相談件数	小学校	44件	37件	7件
		中学校	53件	107件	▲ 54件	
取組内容及び成果	4 Q-Uアンケート調査の実施					
	標準化された心理検査「Q-Uアンケート」を実施し、生徒の状況を把握するとともに、学級経営の健全化に努めた。					
	(1) 費用 401,349円					
自己評価	B	評価理由	スクールソーシャルワーカー等の専門的知識を持った相談員を配置することで、いじめや不登校で悩んでいる児童生徒、保護者及び教員からの相談に適切に対応した。			
方向性	拡大					
課題と取組み	不登校の児童生徒が登校し易い環境整備を図り、多様な対応を可能とするため、サポートルームの設置等を推進する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係																																																					
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																																																									
主要施策	教育力の向上																																																									
事業No.	17	事業名	山村留学センター運営事業		決算額	21,186,110円																																																				
事業目的	人口減少や地域で固定化する人間関係など、小規模校が抱える課題の解消を図るとともに、豊かな自然環境の中での共同生活、体験活動を通じて「心豊かでたくましい子ども」の育成を図る。																																																									
取組内容及び成果	小学生を対象に、県内外から留学児童を受け入れ、山村留学センターでの集団生活や、様々な自然体験・勤労体験、地域住民との交流を図った。																																																									
	1 留学児童 入所児童の状況																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>計</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男子</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> <td>9人</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>4人</td> <td>7人</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>8人</td> <td>16人</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>				学年	2年	3年	4年	5年	6年	計	前年比	男子	0人	3人	1人	1人	4人	9人	3	女子	1人	0人	2人	0人	4人	7人	4	計	1人	3人	3人	1人	8人	16人	7	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">(出身地別内訳)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東京都</td> <td>1人</td> <td>神奈川県</td> <td>2人</td> <td>埼玉県</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>千葉県</td> <td>1人</td> <td>滋賀県</td> <td>1人</td> <td>沖縄県</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>愛媛県</td> <td>7人</td> <td colspan="3">計</td> <td>16人</td> </tr> </tbody> </table>	(出身地別内訳)			東京都	1人	神奈川県	2人	埼玉県	3人	千葉県	1人	滋賀県	1人	沖縄県	1人	愛媛県	7人	計			16人
	学年	2年	3年	4年	5年	6年	計	前年比																																																		
男子	0人	3人	1人	1人	4人	9人	3																																																			
女子	1人	0人	2人	0人	4人	7人	4																																																			
計	1人	3人	3人	1人	8人	16人	7																																																			
(出身地別内訳)																																																										
東京都	1人	神奈川県	2人	埼玉県	3人																																																					
千葉県	1人	滋賀県	1人	沖縄県	1人																																																					
愛媛県	7人	計			16人																																																					
2 収支決算書 ※正職員人件費を除く																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>4年度</th> <th>3年度</th> <th>差引増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳出</td> <td>21,186,110</td> <td>15,424,902</td> <td>5,761,208</td> </tr> <tr> <td>歳入</td> <td>6,780,380</td> <td>3,818,773</td> <td>2,961,607</td> </tr> </tbody> </table>				年度	4年度	3年度	差引増減	歳出	21,186,110	15,424,902	5,761,208	歳入	6,780,380	3,818,773	2,961,607	※歳出の増加については、4年度に公用車購入したため。																																										
年度	4年度	3年度	差引増減																																																							
歳出	21,186,110	15,424,902	5,761,208																																																							
歳入	6,780,380	3,818,773	2,961,607																																																							
3 山村留学センター運営協議会 山村留学事業の円滑な実施及び振興充実を図るため、地域、PTA、学校関係者等で構成する協議会を開催した。 ・ 第1回 7月21日(木) 現状報告等 ・ 第2回 10月26日(水) 事業報告 ・ 第3回 2月22日(水) 事業報告、次年度受入状況報告																																																										
自己評価	B	評価理由	広報活動等により16人の留学児童を確保し、広田小学校が抱える課題に対応した。また、地域、広田小学校保護者と連携して自然体験や勤労体験を通して心豊かでたくましい子どもの育成を図った。																																																							
方向性	維持																																																									
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。																																																									

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	教育力の向上					
事業No.	18	事業名	学校間連携推進事業		決算額	—
事業目的	校長会等を通じ、学校間及び教育委員会で情報を共有し、問題の解決や未然防止に当たり、健全な学校運営を図る。					
取組内容及び成果	<p>1 校長会の開催 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校行事の精選や学校運営、また教職員による不祥事防止策などの共通認識を図るため、中予教育事務所（管理主事）を交えて会議を開催した。</p> <p>(1) 開催頻度 6回/年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校行事について</li> <li>・ 各校防災対策の現状について</li> <li>・ 校務支援システムの利用について</li> <li>・ 修学旅行、自然の家、長期休暇中の過ごし方等学校経営について など</li> </ul> <p>2 行事打合せ会 各種行事における学校と教育委員会事務局との連携を密にするため、毎月1回開催した。</p> <p>(1) 開催回数 11回（8月を除く）</p> <p>3 共同学校事務室の運営 拠点校を砥部中学校とする「砥部町共同学校事務室」を形成している。事務長を地域長とし、構成校の学校事務を組織的に処理することにより、学校事務の平準化と効率化を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人事異動に伴う諸手当の認定</li> <li>・ 給与管理表の確認</li> <li>・ 年末調整</li> <li>・ 期末勤勉、査定昇給</li> <li>・ 就学援助申請関係</li> <li>・ 人事異動関係</li> </ul>					
自己評価	B	評価理由	必要に応じて会議を開催し、学校運営に対する適切な指導や情報を共有したことで、事務負担が軽減され、効率の良い学校経営が図られた。			
方向性	維持					
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係		
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。						
主要施策	安全・安心の充実した教育環境の整備						
事業No.	19	事業名	学校施設整備・維持管理		決算額	127,910,548円	
事業目的	校舎等の学校施設を適切に管理し、安全・安心な学習環境を整備する。						
取 組 内 容 及 び 成 果	1 小中学校管理費 (単位：円)						
		人件費	消耗品費	光熱・燃料費	管理委託費	工事・修繕費	その他
	麻生小	0	3,224,114	7,768,752	2,289,689	8,106,218	3,619,517
	宮内小	0	2,879,732	5,477,823	2,248,412	5,126,634	3,761,941
	砥部小	0	2,268,381	5,325,374	2,712,287	3,147,924	3,964,308
	広田小	0	1,236,519	2,457,699	4,839,927	2,145,412	1,995,634
	人件費	10,693,291	0	0	0	0	0
	小学校計	10,693,291	9,608,746	21,029,648	12,090,315	18,526,188	13,341,400
			人件費	消耗品費	光熱・燃料費	管理委託費	工事・修繕費
砥部中	1,978,166	4,706,922	13,958,475	8,813,484	4,781,121	8,382,792	
中学校計	1,978,166	4,706,922	13,958,475	8,813,484	4,781,121	8,382,792	
2 主要事業（再掲） ※50万円以上の工事のみ。							
(1) 砥部町立小中学校自動火災報知設備及び非常用放送設備更新工事 11,635,000円							
・麻生小学校 5,241,000円							
・宮内小学校 2,181,000円							
・砥部小学校 1,960,000円							
・広田小学校 898,000円							
・砥部中学校 1,355,000円							
(2) 給水ポンプユニット取替工事（麻生小） 1,320,000円							
(3) 校内放送設備改修工事（宮内小） 1,383,800円							
(4) プールフェンス補修工事（広田小） 601,000円							
自己評価	B	評価理由	予定していた事業を年度内に終わることができた。また、突発的な修繕にも学校活動への影響を与えることなく対応した。				
方向性	維持						
課題と取組み	建物機能の老朽化により衛生設備等の改修が必要となっている。トイレの洋式化、バリアフリー化を平準化して計画的に行う。						

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	安全・安心の充実した教育環境の整備					
事業No.	20	事業名	学校安全対策事業		決算額	127,124円
事業目的	子どもが安心して、学校生活等を営む環境を確保する。					
取組内容及び成果	<p>1 通学路安全対策事業                      砥部町通学路安全対策プログラムに基づいて、学校、教育委員会及び関係機関等が連携し、通学路の安全対策を実施した。                      危険箇所：23箇所                      対策状況：対策済22箇所（実施率96%）                      対策内容：横断歩道・外側線引き直し、スクールゾーンの引き直し等</p> <p>2 防犯対策事業                      凶悪犯罪から子どもを守るため、児童生徒の見守り活動を中心とした防犯活動を実施した。                      (1) 青色防犯パトロール 各校1～4回/月 早朝・放課後実施                      (2) 防犯ブザー配布（小学校新1年生） 配布個数 154個                      (3) スクールガード養成講習会 教職員、PTA役員等 41人参加（講師：松山南警察署 生活安全課長）</p> <p>3 学校防災力強化事業                      (1) 砥部町防災教育推進連絡協議会                      近年激甚化している大雨等の災害に備え、避難所となる学校の防災力強化を図るため、松山地方気象台次長の講演を実施し、各校の防災力を高め、避難所運営能力の向上を図った。                      （参加者 15人） 町内公立保育所、幼稚園、認定こども園、小・中学校、松山南高校砥部分校 町防災・避難所担当課、学校教育課</p>					
自己評価	B	評価理由	通学路の安全を確保するため、横断歩道、外側線、スクールゾーンの引き直しを行った。また、青色パトロールなど防犯活動や学校の防災対策について研修会を開催した。			
方向性	維持					
課題と取組み	通学路の一部について、安全対策が完了していない。個人財産に係る安全対策を促進するため、費用負担の軽減を図る等、関係部署と連携して対応する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係																												
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																																
主要施策	安全・安心の充実した教育環境の整備																																
事業No.	21	事業名	感染症対策事業		決算額	5,739,756円																											
事業目的	集団感染のリスクを避け、安心して学ぶことができる体制を整備する。																																
取組内容及び成果	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策事業 5,739,756円（内補助金額2,866,000円）                      新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による集団感染のリスクを避け、安心して学ぶことができる体制の整備を促進した。</p> <p>(1) 備品・消耗品の購入                      5,739,756円（小学校 3,939,565円・中学校 1,800,191円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>消耗品</th> <th>備品</th> <th>購入備品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>麻生小学校</td> <td>1,116,350円</td> <td>196,114円</td> <td>空気清浄機1台、遠隔授業用WEBカメラ4台、サーキュレーター6台</td> </tr> <tr> <td>宮内小学校</td> <td>1,022,771円</td> <td>238,720円</td> <td>空気清浄機1台 遠隔授業用WEBカメラ4台</td> </tr> <tr> <td>砥部小学校</td> <td>707,242円</td> <td>192,720円</td> <td>空気清浄機1台 遠隔授業用WEBカメラ4台</td> </tr> <tr> <td>広田小学校</td> <td>349,928円</td> <td>115,720円</td> <td>遠隔授業用WEBカメラ4台</td> </tr> <tr> <td>砥部中学校</td> <td>1,684,471円</td> <td>115,720円</td> <td>遠隔授業用WEBカメラ4台 CO<sub>2</sub>濃度測定器45台</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,880,762円</td> <td>858,994円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>《今後の活用》                      購入備品については、今後も新型コロナウイルス感染症をはじめ、インフルエンザ等の流行期の感染症対策として使用を継続する。また、遠隔授業用WEBカメラについては、感染症対策だけでなく、不登校児童生徒への遠隔授業や、他校との交流など、多目的に広く活用する。</p>					学校名	消耗品	備品	購入備品	麻生小学校	1,116,350円	196,114円	空気清浄機1台、遠隔授業用WEBカメラ4台、サーキュレーター6台	宮内小学校	1,022,771円	238,720円	空気清浄機1台 遠隔授業用WEBカメラ4台	砥部小学校	707,242円	192,720円	空気清浄機1台 遠隔授業用WEBカメラ4台	広田小学校	349,928円	115,720円	遠隔授業用WEBカメラ4台	砥部中学校	1,684,471円	115,720円	遠隔授業用WEBカメラ4台 CO <sub>2</sub> 濃度測定器45台	合計	4,880,762円	858,994円	
	学校名	消耗品	備品	購入備品																													
	麻生小学校	1,116,350円	196,114円	空気清浄機1台、遠隔授業用WEBカメラ4台、サーキュレーター6台																													
	宮内小学校	1,022,771円	238,720円	空気清浄機1台 遠隔授業用WEBカメラ4台																													
	砥部小学校	707,242円	192,720円	空気清浄機1台 遠隔授業用WEBカメラ4台																													
	広田小学校	349,928円	115,720円	遠隔授業用WEBカメラ4台																													
	砥部中学校	1,684,471円	115,720円	遠隔授業用WEBカメラ4台 CO <sub>2</sub> 濃度測定器45台																													
	合計	4,880,762円	858,994円																														
	自己評価	B	評価理由	感染予防のための必要な備品等を整備するなど、予定していた感染対策を実施することができた。																													
	方向性	縮小																															
課題と取組み	感染防止対策は継続して実施する。																																

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	社会教育係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	ニーズに合わせた学習機会の充実					
事業No.	22	事業名	国際交流事業		決算額	2,600,000円
事業目的	海外の一流音楽や様々な国の文化にふれることで国際感覚豊かな人材育成を図る。					
取組内容	<p>1 国際交流サマースクールの開催 町内小学生と海外留学生等が集い、寝食を共にする1泊3日のキャンプを行った。</p> <p>(1) 開催日：8月6日(土)～8日(月) (2) 開催場所：旧高市小学校、陶街道ゆとり公園武道場 (3) 参加者：48人(町内の小学生29人)と愛媛大学の留学生3人他 (4) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開校式(留学生らの自己紹介、ダンスパフォーマンス など)</li> <li>・ワークショップ(凧作り、科学実験など)</li> <li>・泡フェスティバル(えひめこどもの城協力による)</li> <li>・花火大会</li> <li>・スポーツ体験(綱引き、サッカー、柔道) など</li> </ul>					
及び成果	<p>2 ショパンビレッジフェスティバルin砥部町の開催 ポーランドの世界的なピアニストによるピアノ演奏など、一流の音楽を町民に提供した。</p> <p>(1) 開催日：10月30日(日) (2) 開催場所：砥部町文化会館 (3) 来場者数：600人 (4) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イグナツ・リシェツキ氏のピアノコンサート</li> <li>・日本人パフォーマンス集団「TORANOKO Performing Arts Company」のライブパフォーマンス</li> <li>・キッチンカー、ポーリッシュショップ など</li> </ul>					
自己評価	B	評価理由	国際交流の機会を提供することで、異文化に対する理解を深めることができた。			
方向性	維持					
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	公民館係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	ニーズに合わせた学習機会の充実					
事業No.	23	事業名	公民館活動事業		決算額	6,269,057円
事業目的	住民への学習の場を提供するため、子ども・成人・高齢者など幅広い世代を対象とした講座、教室等を開催する。					
取組内容及び成果	<p>1 中央公民館の事業 事業費：6,259,057円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とべっ子文化の広場教室(26教室 受講生217人)</li> <li>・とべっ子ふれあいデイキャンプ(3回 延べ126人)</li> <li>・国際教養講座(年20回 延べ237人)</li> <li>・ポーランド語講座(10回 延べ71人)</li> <li>・英会話教室(年30回 延べ376人)</li> <li>・まなびや事業(3回 延べ43人)</li> <li>親子陶芸教室2回 16人</li> <li>私と家族の相続講座 1回 27人</li> <li>・芸術文化フェスタ(関連事業含む) 来場者 2,533人 <ul style="list-style-type: none"> <li>映画上映会 284人</li> <li>囲碁・将棋大会 28人</li> <li>吟詠大会 65人</li> <li>発表会 16団体 239人</li> <li>作品展示 852点 1,917人</li> </ul> </li> <li>・事業参加者等へのアンケート調査 (379人)</li> </ul> <p>2 千里地区公民館の事業</p> <p>千里地区公民館夏祭りは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p> <p>3 ひろた交流センターの事業 事業費：10,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流センター文化教室 (3教室：受講生32人)</li> <li>・ひろた子どもあそび広場 <ul style="list-style-type: none"> <li>(年4回[木育教室、科学体験教室、料理教室、文化財めぐり]：延べ111人)</li> </ul> </li> <li>・ファミリースポーツ選手権[レクバレー] (年1回：57人)</li> <li>・秋季大運動会 (広小・広保・ひろた交流センター合同) (年1回：約100人)</li> </ul>					
自己評価	B	評価理由	新型コロナウイルス感染拡大防止を図り事業を実施した。また、硬直化した事業の改善を行い、公民館事業の魅力向上を図った。			
方向性	維持					
課題と取組み	参加者の年齢が偏っている。幅広い年齢層をターゲットにした公民館事業を展開するため、若年層向けの教室の開催や休日及び夜間事業の充実を図る。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	社会教育係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	ニーズに合わせた学習機会の充実					
事業No.	24	事業名	読書活動推進事業		決算額	35,473,165円
事業目的	図書館において、図書、記録等の資料を収集・保存し、利用者に提供することにより、住民の学習活動や文化活動を推進する。					
取組内容及び成果	<p>1 図書館</p> <p>(1) 図書館貸出人数 35,339人</p> <p>(2) 図書館貸出冊数 132,815冊（1日あたり利用者数125人／開館日数282日）</p> <p>(3) 図書館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おはなし会（毎月第1・第3土曜日） 140人</li> <li>・ にこにこほっぺのおはなし会（毎月第2月曜日） 107人</li> <li>・ ひろたのみんなのおはなし会（毎月第1木曜日） 36人</li> <li>・ ブックスタート（4か月児 毎月、7か月児 奇数月） 106人</li> <li>・ ポップDEビブリオコンテスト2022（年1回） 44人</li> <li>・ 図書館たんけん隊（夏休み中） 7人</li> <li>・ 読書記録帳（登録者数） 212人</li> </ul> <p>(4) 電子図書館</p> <p>図書館の新たな取組みとして、インターネット経由で利用できる電子図書館を導入し、読書活動の推進を図った。</p> <p>登録者数：224人、閲覧数：2,816点</p>					
自己評価	B	評価理由	電子図書館を導入することで休館日や時間外にも利用が可能となった。文字の拡大や読み上げ機能など高齢者や障がい者に配慮した機能が備わり、利便性が向上した。			
方向性	維持					
課題と取組み	図書の貸出人数が減少している。電子図書を充実させ、図書館の利便性の向上を図り、利用者数を増加させる。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	公民館係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	活動の場づくりと担い手の充実					
事業No.	25	事業名	公民館施設管理		決算額	23,022,283円
事業目的	安全で快適な生涯学習の場を、住民に提供する。					
取 組 内 容 及 び 成 果	1 中央公民館（体育館含む） 17,356,590円					
	【中央公民館】					
	主催事業		その他利用状況（貸館）		合計	
	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
	607回 (24回)	5,219人 (219人)	2,290回 (111回)	19,349人 (2,278人)	2,897回 (135回)	24,568人 (2,497人)
	※ 主催事業には、文化教室の利用実績を含んでいる。					
	※ （ ）については、日、祝日の利用実績である。					
	【中央公民館体育館】					
	利用回数	利用人数				
	1,276回	19,110人				
2 千里地区公民館 1,336,303円						
主催事業		その他利用状況（貸館）		合計		
利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	
0回	0人	123回	1,118人	123回	1,118人	
3 ひろた交流センター 4,329,390円						
主催事業		その他利用状況（貸館）		合計		
利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	
73回	487人	108回	2,869人	181回	3,356人	
※ 主催事業には、文化教室の利用実績を含んでいる。						
自己評価	B	評価理由	新型コロナウイルス感染拡大防止のため施設の利用を中止する期間があったが、休日を開館し、感染症対策を適切に行い、住民の利用に供した。			
方向性	維持					
課題と取組み	公民館の改修に続き、新型コロナウイルス感染拡大により利用者が減少した。住民の利用拡大を図るため、自主的な学習を奨励するとともに、安価で利用しやすい施設として広報活動を推進する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	社会教育係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	活動の場づくりと担い手の充実					
事業No.	26	事業名	青少年健全育成事業		決算額	653,654円
事業目的	青少年の非行を防止するとともに、社会への参画意欲や自立への意欲等を促進する。					
取組内容及び成果	<p>1 青少年育成センター 教育委員会に事務局を置き、青少年に関する相談事業や登校指導・街頭補導等を行い、青少年の健全育成、非行防止のための活動を行った。</p> <p>(1) 組織</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補導員 町職員 1人</li> <li>・ 補導委員 34人(砥部 32人・広田 2人)</li> </ul> <p>(2) 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例補導委員会 11回 ※通常12回(1回/月)</li> <li>・ 登校指導 57回</li> <li>・ 街頭補導 44回(19時30分～21時00分)</li> </ul> <p>2 とべっ子志縁倶楽部(ボランティア事業) 小・中学校放課後の学習支援活動や登下校の見守り活動、読書支援活動を行った。</p> <p>(1) 会員数 35人</p> <p>(2) 放課後学習講座(学習指導) 砥部中学校 2回/週</p> <p>(3) 放課後わくわくクラブ(学習指導) 麻生・宮内・砥部小学校 1回/週</p> <p>(4) 登下校見守り活動 最寄りの場所又は中学校指定の場所で随時</p> <p>3 青少年健全育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ とべの里冒険クラブ 前年度養成した大学生のボランティアリーダーが主体となり、町内の小学校4年生～中学生を対象に砥部の魅力を知ってもらうことを目的とした活動を行った。 小中学生：15人、ボランティアリーダー：20人(医療技術大学8人、松山大学12人) 全体でのデイキャンプ1回、とべもりジップライン体験などの班活動11回</li> <li>・ ボランティアリーダー養成事業 令和5年度からとべの里冒険クラブを企画運営する、高校生・大学生のボランティアリーダーの養成事業を行った。 ボランティアリーダー数：14人(医療技術大学3人、松山大学4人、愛媛大学5人 松山東高校1人、愛媛大学附属高校1人) 実施プログラム：町内施設見学、子どもとの関わり方研修、農業体験、インタープリター研修、野外キャンプ講座、まちあるき実習</li> </ul>					
自己評価	B	評価理由	青少年育成センター補導委員会の補導事業による非行防止、また、とべの里冒険クラブでの野外体験活動を通して、青少年の健全育成を図るなど、おおむね予定通り事業を展開することができた。			
方向性	維持					
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	社会教育係																																														
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。																																																		
主要施策	互いの人権を尊重する社会の構築																																																		
事業No.	27	事業名	人権教育・人権対策推進事業		決算額	5,929,429円																																													
事業目的	人権問題の解消に向けて、町民一人ひとりが様々な人権問題に対する理解を深め、人権意識の高揚を図る。																																																		
取組内容及び成果	<p>1 人権教育の推進・啓発</p> <p>町民一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、研修会や講座などの事業を実施した。</p> <p>(1) 人権教育基礎講座：10月～12月に計6回の講座を開催 受講者数 320人（前年304人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>講師</th> <th>演題</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月27日</td> <td>社会教育指導員 大島進氏</td> <td>人権問題入門</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>11月2日</td> <td>愛媛県人権啓発指導員 水本諭氏</td> <td>幸せはみんないっしょに一人権問題をどう考えるか</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>11月8日</td> <td>(公財)えひめ女性財団 理事長 越智やよい氏</td> <td>DV・性暴力のない社会へージェンダーバイアス（男らしさ、女らしさの偏見）から考えるー</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>11月24日</td> <td>NPO法人 ころ塾 塾長 村松つね氏</td> <td>つながりで生きるを支える街づくり ー心の健康づくりについてー</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>12月1日</td> <td>県人権教育協議会 会長代行 米田孝弘氏</td> <td>厳冬に耐えて咲く</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>12月8日</td> <td>松山市立浮穴小学校 教頭 深沼輝彦氏</td> <td>子どもたちの人権・同和教育</td> <td>54人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 人権教育巡回学習会 18地区、260人参加（前年3地区、53人参加）</p> <p>(3) 啓発活動 広報とべ掲載（年4回）</p> <p>2 人権対策活動</p> <p>生活、体調、教育および就労などの地域住民が抱える相談を広域隣保活動相談員が指導、助言及び関係機関への連絡調整を行った。</p> <p>(1) 相談件数 78件（電話15件 来庁16件 訪問47件） ※ 前年100件</p> <p>3 人権関係研修会等への参加</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>大会名</th> <th>開催地</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛媛県人権・同和教育研究大会</td> <td>松山市</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>四国地区人権教育研究大会県内報告会</td> <td>松山市</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>中予地区人権・同和教育研究協議会</td> <td>久万高原町</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>全国人権・同和教育研究大会</td> <td>奈良県</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>人権啓発土曜講座</td> <td>伊予市他</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table>					月日	講師	演題	人数	10月27日	社会教育指導員 大島進氏	人権問題入門	55人	11月2日	愛媛県人権啓発指導員 水本諭氏	幸せはみんないっしょに一人権問題をどう考えるか	60人	11月8日	(公財)えひめ女性財団 理事長 越智やよい氏	DV・性暴力のない社会へージェンダーバイアス（男らしさ、女らしさの偏見）から考えるー	51人	11月24日	NPO法人 ころ塾 塾長 村松つね氏	つながりで生きるを支える街づくり ー心の健康づくりについてー	50人	12月1日	県人権教育協議会 会長代行 米田孝弘氏	厳冬に耐えて咲く	50人	12月8日	松山市立浮穴小学校 教頭 深沼輝彦氏	子どもたちの人権・同和教育	54人	大会名	開催地	参加者数	愛媛県人権・同和教育研究大会	松山市	27人	四国地区人権教育研究大会県内報告会	松山市	7人	中予地区人権・同和教育研究協議会	久万高原町	36人	全国人権・同和教育研究大会	奈良県	6人	人権啓発土曜講座	伊予市他	19人
	月日	講師	演題	人数																																															
	10月27日	社会教育指導員 大島進氏	人権問題入門	55人																																															
	11月2日	愛媛県人権啓発指導員 水本諭氏	幸せはみんないっしょに一人権問題をどう考えるか	60人																																															
	11月8日	(公財)えひめ女性財団 理事長 越智やよい氏	DV・性暴力のない社会へージェンダーバイアス（男らしさ、女らしさの偏見）から考えるー	51人																																															
	11月24日	NPO法人 ころ塾 塾長 村松つね氏	つながりで生きるを支える街づくり ー心の健康づくりについてー	50人																																															
	12月1日	県人権教育協議会 会長代行 米田孝弘氏	厳冬に耐えて咲く	50人																																															
	12月8日	松山市立浮穴小学校 教頭 深沼輝彦氏	子どもたちの人権・同和教育	54人																																															
	大会名	開催地	参加者数																																																
	愛媛県人権・同和教育研究大会	松山市	27人																																																
四国地区人権教育研究大会県内報告会	松山市	7人																																																	
中予地区人権・同和教育研究協議会	久万高原町	36人																																																	
全国人権・同和教育研究大会	奈良県	6人																																																	
人権啓発土曜講座	伊予市他	19人																																																	
自己評価	B	評価理由	<p>「人権教育基礎講座」は、昨年度よりも受講者数を増やすことができました。「人権教育巡回学習会」は、18地区で実施することができ、DVDの視聴及び意見発表だけでなく、各学校の人権に関する取組を地域住民に情報提供した。</p>																																																
方向性	維持																																																		
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。																																																		

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	社会教育係
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。				
主要施策	男女共同参画の推進				
事業No.	28	事業名	男女平等教育の推進	決算額	3,300円
事業目的	性別に関わりなく社会活動に参画できるまちづくりを推進するため、住民一人ひとりが性別に捕らわれない人権尊重精神の涵養を図る。				
取組内容及び成果	<p>1 女性の人権に関する研修会 人権教育基礎講座の一環として、令和4年11月8日に中央公民館において講演会を実施した。 [研修内容] DV・性暴力のない社会へ ―ジェンダーバイアス（男らしさ、女らしさの偏見）から考える― ・対象者 区長会、議会、分館長会、老人クラブ、各小中学校教職員、各PTA ほか町民 ・参加人数 51人</p> <p>2 女性団体育成事業 町内において主に女性が中心となって活動している団体及び砥部町女性団体連絡協議会に研修の場を提供する等、側面から支援を行った。</p> <p>(1) 他の女性団体との交流事業 ・11月30日に伊方町の女性団体と女性団体が抱える問題について意見交換を行った。 9人参加</p> <p>(2) ボランティア活動への支援 ・芸術文化フェスタに受付や展示作品の監視のボランティア活動 16人参加 ・一日食品衛生監視事業で町内事業所への監視のボランティア活動 17人参加</p> <p>(3) 研修機会の提供 ・男女共同参画社会づくり推進県民大会 1人参加 ・砥部町人権教育基礎講座 4人参加 ・砥部町人権の町づくり集会 11人参加 ・中予地域消費者被害防止フォーラム 9人参加</p> <p>(4) 女性団体の活性化のための親睦会の支援 ・料理講習会の開催 25人参加</p>				
自己評価	B	評価理由	女性の人権問題を考えるための人権教育基礎講座を開催した。また、女性団体によるボランティア活動の実施や伊方町女性団体連絡協議会との交流研修を通して、女性団体の活性化を図った。		
方向性	維持				
課題と取組み	女性団体の活性化が求められている。学習会やボランティア活動を通して、女性団体としての活動意義を明確にし、当該女性団体が取り組む、女性の人権や社会参画に関する課題解決のための活発な活動を促すための支援を行う。				

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	文化財保護と継承					
事業No.	29	事業名	文化財保護事業		決算額	890,417円
事業目的	文化財保護意識の啓発とともに、潜在文化財の調査研究を行い、必要に応じて文化財として指定する等、適切に文化財等を保護する。					
取組内容及び成果	<p>1 文化財保護審議会</p> <p>町内にある文化財の保存と活用を図るため、文化財保護に関する協議を行ったほか、指定候補物件の調査、研究などを行った。</p> <p>(1) 埋蔵文化財包蔵地の指定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂本窯跡（七折）</li> </ul> <p>(2) ホームページを活用した埋蔵文化財包蔵地の周知について</p> <p>(3) 文化財保存活用地域計画のための視察研修（松野町）</p> <p>2 文化財保存顕彰事業費補助金</p> <p>町指定文化財の所有者が行う文化財保存顕彰事業に要する経費に対し、補助金を交付した。</p> <p>(1) 総森三島神社拝殿の屋根修繕（修繕費用の1/2補助）</p> <p>3 砥部焼の歴史・文化の調査研究</p> <p>本町の歴史文化の特徴の一つである砥部焼について、愛媛大学と連携するなど関係機関と協力のおかげ、古文書の撮影・解読や窯跡調査など調査研究を行った。</p> <p>(1) 坪内家文書の撮影・解読（愛媛大学連携協定事業）</p> <p>(2) 砥部焼窯跡調査 約12地点（愛媛大学との共同事業）</p>					
自己評価	B	評価理由	窯跡調査の結果に基づき、埋蔵文化財包蔵地の指定を進めた。また、愛媛大学など関係機関との連携により、窯跡調査や坪内家文書の撮影・解読など砥部焼の歴史・文化の調査研究を進めた。			
方向性	維持					
課題と取組み	文化財の指定に向けた議論の加速化が求められている。積極的な文化財、埋蔵文化財包蔵地の指定に向けて基礎的データの整理を行う。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係																			
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。																							
主要施策	文化財の活用																							
事業No.	30	事業名	文化財への理解促進		決算額	242,766円																		
事業目的	文化財への理解を深め、文化財に親しむ機会を図るとともに、井上正夫の資料収集及び当該資料の公開等により、気軽に学べる機会を提供する。																							
取組内容	<p>1 歴史講座の開催 砥部の文化や歴史を学んでもらうため、町民を対象とした歴史講座を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> <th>講師</th> <th>タイトル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月23日</td> <td>12人</td> <td rowspan="2">日和佐宣正</td> <td>城跡からみる砥部の歴史（座学）</td> </tr> <tr> <td>12月10日</td> <td>14人</td> <td>城跡からみる砥部の歴史（視察：千里城址）</td> </tr> <tr> <td>12月3日</td> <td>19人</td> <td>太田由美子</td> <td>砥部の民話～砥部地区～</td> </tr> <tr> <td>12月24日</td> <td>中止</td> <td>豊島吉博</td> <td>砥部むかしのくらし館体験</td> </tr> </tbody> </table>					開催日	参加者数	講師	タイトル	11月23日	12人	日和佐宣正	城跡からみる砥部の歴史（座学）	12月10日	14人	城跡からみる砥部の歴史（視察：千里城址）	12月3日	19人	太田由美子	砥部の民話～砥部地区～	12月24日	中止	豊島吉博	砥部むかしのくらし館体験
	開催日	参加者数	講師	タイトル																				
11月23日	12人	日和佐宣正	城跡からみる砥部の歴史（座学）																					
12月10日	14人		城跡からみる砥部の歴史（視察：千里城址）																					
12月3日	19人	太田由美子	砥部の民話～砥部地区～																					
12月24日	中止	豊島吉博	砥部むかしのくらし館体験																					
及び	<p>2 文化財展示 年間を通じて、町の名優井上正夫の資料や本町で出土した埋蔵文化財の展示を行った。</p> <p>(1) 井上正夫資料室（町文化会館） ・ 展示（展示替え2回） [展示テーマ] 井上正夫と動物の絵 [令和4年3月～12月] 井上正夫の演劇史 [令和4年12月～展示中] ・ 資料室所蔵レコードのデジタル化（CD12枚）</p> <p>(2) 埋蔵文化財展示室（中央公民館）[通年] 通谷山古墳出土 須恵器（壺、高坏）、鉄器（刀、斧）など</p>																							
成果	<p>3 人権学習での井上正夫資料室活用 井上正夫を題材とした砥部中学校の人権学習に協力し、中学生の人権委員約20人に対し、井上正夫資料室において井上正夫の生涯や展示について解説を行った。</p>																							
自己評価	B	評価理由	通年の文化財展示のほか、歴史講座や文化財めぐりなどの体験的な活動を実施し、歴史や文化に親しむ多様な機会を提供した。																					
方向性	維持																							
課題と取組み	親しみがあって、多くの住民が参加し易い事業展開が求められている。個々の事業の趣旨・目的・ターゲット等を明確にして事業の魅力化を図る。																							

教育委員会における事務の管理・執行状況 ー事業別評価表ー

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	文化財の活用					
事業No.	31	事業名	坂村真民記念館		決算額	20,040,490円
事業目的	砥部町の名誉町民である坂村真民に関する資料の収集や展示を行い、真民詩を全国に発信することにより、真民詩を後世に伝える。					
取組内容及び成果	1 年間入館者数					
		年度	有料	無料	計	
		4年度	3,607人	1,991人	5,598人	
		3年度	1,890人	1,259人	3,149人	
	2 企画展（特別展）					
	タイトル	内 容	期 間	入館者数		
	開館10周年記念特別展 「砥部の砥石で己れを磨け」	これまでの展示の集大成として、来館者の真民詩ベスト15を選出し、展示	令和4年3月5日～ 令和4年8月28日	3,187人		
	企画展「坂村真民と家族の詩」	三瓶、吉田、宇和島時代の真民と家族の物語にスポットを当てた真民詩の展示	令和4年9月3日～ 令和5年2月26日	2,367人		
	開館11周年記念特別展 「一遍さんと真民さん」	一遍さんの生き方に影響を受けて創られた「真民詩」の詩墨作品などの展示	令和5年3月4日～ 令和5年7月2日 ※入館者数は3/31までの集計	604人		
	3 来館者10万人達成イベント					
	来館者が10万人に達成し、10万人目の来館者へ記念品と花束を贈呈した。					
	(1) 開催日 令和4年6月29日					
	(2) 場 所 坂村真民記念館ロビー					
自己評価	B	評価理由	開館11年を迎えた。これまでの展示の集大成として、来館者の真民詩ベスト15を選定して展示し、真民詩のPRをしたほか、記念館の目的に沿って、企画展示を行った。			
方向性	維持					
課題と取組み	来館者が低迷している。来館者の拡大に向けて、他の事業への真民詩の活用など政策連携を図る。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係										
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。														
主要施策	地域伝統文化の継承														
事業No.	32	事業名	地域伝統文化保存伝承事業	決算額	23,807円										
事業目的	伝統芸能の保存団体等が行う保存伝承活動を支援するとともに、地域の伝統的な祭りや行事の現状及び変容の実態を把握し記録する。														
取組内容及び成果	<p>1 伝統芸能保存伝承事業</p> <p>地域において伝統芸能の保存団体等が行う保存伝承活動に対し、補助金を交付した。</p> <p>(1) 交付団体数 2団体（北川毛伝統芸能保存会、岩谷口獅子舞保存会） 23,807円</p> <p>※ 総津獅子舞、満穂万歳保存会は、コロナ禍の影響により活動を中止</p> <p>【参考】町内伝統芸能団体</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">団体名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩谷口獅子舞保存会（岩谷口）</td> <td>宮内獅子舞保存会（宮内）</td> </tr> <tr> <td>総津獅子舞保存会（総津）</td> <td>本村獅子舞（高市）</td> </tr> <tr> <td>北川毛伝統芸能保存会（北川毛）</td> <td>鴨滝獅子舞（高市）</td> </tr> <tr> <td>満穂万歳保存会（満穂）</td> <td>高市舎儀利（高市）</td> </tr> </tbody> </table>					団体名		岩谷口獅子舞保存会（岩谷口）	宮内獅子舞保存会（宮内）	総津獅子舞保存会（総津）	本村獅子舞（高市）	北川毛伝統芸能保存会（北川毛）	鴨滝獅子舞（高市）	満穂万歳保存会（満穂）	高市舎儀利（高市）
	団体名														
岩谷口獅子舞保存会（岩谷口）	宮内獅子舞保存会（宮内）														
総津獅子舞保存会（総津）	本村獅子舞（高市）														
北川毛伝統芸能保存会（北川毛）	鴨滝獅子舞（高市）														
満穂万歳保存会（満穂）	高市舎儀利（高市）														
<p>2 祭り・行事等調査</p> <p>町誌編さんの一環として、本町に伝承されている伝統的な祭りや地域行事の現状及び変容の実態について調査を行った。</p>															
自己評価	B	評価理由	昨年度に引き続きコロナ禍の影響で地域の祭りや行事が停滞したが、一部団体の活動を支援したほか、地域の祭りや行事の現状を把握するため、調査を行い、その成果を記録に残した。												
方向性	維持														
課題と取組み	地域の高齢化等によって伝統文化の消滅が進んでいる。適切な支援と正確に記録を保存するため、地域や団体への人的・財政的支援を行うとともに画像や映像記録を保存する。														

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係	
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。					
主要施策	文化・芸術活動への参加促進					
事業No.	33	事業名	文化会館管理運営		決算額	51,181,954円
事業目的	文化・芸術活動の拠点となる場を提供し、活発な文化・芸術活動を推進する。					
取組内容及び成果	<p>砥部町文化会館条例等に基づき、指定管理者であるアクティオ株式会社が管理運営している。</p> <p>1 文化会館の利用状況</p> <p>(1) 文化会館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 細田真子&amp;三村哲子2台ピアノ故里公演（6月） 260人</li> <li>・ 倭-YAMATO 日本ツアー（7月） 181人</li> <li>・ シリーズ-魅力ある愛媛の音楽家たち-Vol.18 大萩康喜 尺八リサイタル 新鋭競演 尺八・箏・琉球箏・日本舞踏（7月） 191人</li> <li>・ 神田伯山独演会（9月） 766人</li> <li>・ カルチャー教室発表会Vol.2（1月） 250人</li> <li>・ カルチャー教室等各種教室（通年） 2,231人</li> </ul> <p>(2) 利用者数 45,891人（うち、ホール 23,908人、会議室 21,983人）</p> <p>(3) ふれあいホール稼働率 69.4%（稼働日数 240日／開館日数 346日）</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月12日から9月16日までの期間貸出中止</p> <p>2 主な修繕工事等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 舞台照明設備及び舞台機構設備改修工事設計委託料 9,350,000円</li> <li>・ ふれあいホール座席プレート交換 290,950円</li> <li>・ LAN設備導入工事 285,455円</li> <li>・ 給水設備漏水修繕 176,000円</li> </ul>					
	自己評価	B	評価理由	修繕等適正な維持管理により利用者の安全確保や利便性の向上に努め、コロナ禍の影響は見受けられるものの、指定管理者の適切な運営により住民に安定的かつ継続的に利用された。		
方向性	維持					
課題と取組み	施設の老朽化により舞台設備など大規模な改修が必要となっている。事業規模を平準化して、計画的に行う。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	公民館係	
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。					
主要施策	文化・芸術活動を通じた交流の推進					
事業No.	34	事業名	学習発表会		決算額	4,999,166円
事業目的	文化イベントを充実させるとともに、文化交流事業の開催などにより、地域に根ざした個性豊かな文化を創造する。					
取組内容及び成果	<p>1 芸術文化フェスタ 事業費：1,328,157円</p> <p>(1)映画上映会 「身近き、短き、家族かな」 開催日 11月3日(水) 来場者 284人</p> <p>(2)吟詠大会 開催日 11月19日(土) 参加者 65人</p> <p>(3)囲碁・将棋大会 囲碁 11月19日(土) 参加者 15人 将棋 11月20日(日) 参加者 13人</p> <p>(4)展示部門 開催日 11月19日(土)・11月20日(日) 展示数 852点 来場者 1,917人</p> <p>(5)発表会 開催日 11月20日(日) 16団体 参加者 239人 内 容 とべっ子文化の広場教室生等による芸能発表会(一般参加を含む) 教 室 大正琴 箏曲 尺八 歌謡 ギター初心者 一 般 ダンス オカリナ 日舞 和太鼓 砥部小獅子舞 太極拳 体操</p> <p>2 広田ふるさとフェスタ 事業費：3,671,009円 開催日 11月6日(日) 来場者 約1,500人 内 容 郷土芸能発表 ライブショー ほか</p> <p>3 広田地域芸能発表会 開催日 3月12日(日) 出演者 8グループ51人 来場者 100人 内 容 万歳 和太鼓 ギター カラオケ 舞踊 軽音楽</p>					
自己評価	B	評価理由	芸術文化フェスタでは、発表会や作品展示等において、とべっ子文化の広場教室生を中心として、日頃の練習や教室で学んだ成果を披露する場を提供した。また、各種芸術文化団体の発表や作品展示を通して地域住民へ芸術文化活動に接する機会を提供した。			
方向性	維持					
課題と取組み	参加者・観覧者が減少している。芸術文化フェスタなどへの参加者及び一般観覧者の増加を図るため、魅力的な情報発信を行うとともに体験イベントの開催や会場の賑わいの創出を図る。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係	
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。					
主要施策	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進					
事業No.	35	事業名	社会体育推進事業		決算額	2,108,409円
事業目的	誰もがスポーツに取り組みやすい環境を整備し、住民のスポーツ習慣の定着を図る。					
取組内容及び成果	1 町内各種スポーツ大会（スポーツ協会委託事業）					
	大会名		開催日	4年度	3年度	
	ソフトテニス大会		5月16日	11チーム 96人	中止	
	バレーボール大会		6月13日	18チーム 214人	中止	
	卓球大会		6月27日	13チーム 104人	12チーム	103人
	軟式野球大会		7月25日	16チーム 323人	16チーム	326人
	ソフトボール大会		8月29日	中止		中止
	レクバレー大会		9月12日	中止		中止
	バドミントン大会		10月24日	26チーム 202人	24チーム	185人
	インディアカ大会		11月21日	10チーム 55人	中止	
	テニス大会		12月5日	18チーム 154人	15チーム	109人
	計			112チーム 1,148人	67チーム	723人
	2 スポーツ少年団交歓大会（スポーツ協会委託事業）					
大会名		開催日	4年度	3年度		
ソフトボール大会		11月26日	3チーム 39人	4チーム	39人	
女子ミニバス大会		1月21日	4チーム 46人	6チーム	92人	
男子ミニバス大会		2月18日	8チーム 256人	中止		
合計			15チーム 341人	10	131人	
自己評価	B	評価理由	新型コロナウイルス感染症の影響により2大会が中止となったが、延べ1,489人が大会に参加した。コロナ禍においても感染対策を実施し住民の相互交流の機会を提供した。			
方向性	維持					
課題と取組み	参加団体が固定化し、参加者が減少している。参加団体及び参加者の拡大を図るため、分館長にスポーツ活動に対する意識啓発を行うことにより、地域でのスポーツ活動の活性化を図る。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

	所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。			
主要施策	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進			

事業No.	36	事業名	社会体育施設管理	決算額	20,036,002円
-------	----	-----	----------	-----	-------------

事業目的	安全で快適にスポーツ活動を行える環境を住民に提供する。				
------	-----------------------------	--	--	--	--

取組内容及び成果	1 社会体育施設の利用状況			2 陶街道ゆとり公園及び田ノ浦町民広場の利用状況			
	施設名	利用者数	利用日数	施設名	利用者数	利用日数	
	砥部中学校 グラウンド	2,245人	69日	多目的広場	11,796人	225日	
	体育館	5,783人	242日	テニスコート	17,834人	326日	
	武道場	5,783人	297日	わんぱく広場	24,215人	273日	
	砥部小学校 グラウンド	4,316人	205日	体育館	41,726人	318日	
	体育館	5,649人	215日	グラウンドゴルフ場	3,014人	234日	
	宮内小学校 グラウンド	6,440人	241日	武道場	13,483人	317日	
	体育館	10,771人	253日	田ノ浦町民広場	3,737人	95日	
	麻生小学校 グラウンド	8,050人	263日	合計	115,805人		
	体育館	13,514人	273日				
	大南町民広場	5,884人	199日	社会体育施設は年間71,300人の利用があり、対前年比で27,761人増加した。指定管理施設は、年間115,805人の利用があり、対前年比37,645人増加した。コロナ禍の影響による貸出中止等の影響はあったものの、令和3年度との比較ではいずれも利用者増となっている。			
	ひろた町民グラウンド	1,233人	45日	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月12日から9月16日までの期間貸出中止			
	広田小学校 体育館	839人	33日				
	玉谷町民体育館	188人	18日				
	高市町民グラウンド	305人	5日				
	高市町民体育館	300人	5日				
	合計	71,300人					
	3 主な修繕工事						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 陶街道ゆとり公園体育館LED照明修繕 1,760,000円</li> <li>・ 社会体育施設自動水栓設備整備工事 2,398,000円</li> </ul>						

自己評価	B	評価理由	修繕等適正な維持管理により利用者の安全確保や利便性の向上に努め、指定管理者の適切な運営により住民に安定的かつ継続的に利用された。			
------	---	------	--	--	--	--

方向性	維持				
-----	----	--	--	--	--

課題と取組み	施設の老朽化により、建物やテニスコートなど大規模な改修が必要となっている。事業規模を平準化して、計画的に行う。				
--------	---	--	--	--	--

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係	
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。					
主要施策	地域における指導者の確保及び育成					
事業No.	37	事業名	スポーツ指導者確保及び育成		決算額	5,973,913円
事業目的	スポーツ団体と連携して、スポーツ活動の活性化及びスポーツへの参加人口の拡大を図る。					
取組内容及び成果	<p>1 町スポーツ推進委員                      スポーツの実技指導やスポーツ活動の企画・推進等を目的にスポーツ推進委員を委嘱し、町体育事業への協力や、新しいスポーツ種目の検討、スポーツの指導等を行うための研修を行った。</p> <p>(1) 町スポーツ推進委員 12人                      (2) スポーツ推進委員会 5回                      (3) 各種スポーツ大会運営協力 4回                      (4) 研修会等参加 4回</p> <p>2 町スポーツ協会（連携事業）                      町スポーツ協会と連携し、スポーツ大会の運営等を協会の専門部会など地域の力に任せ実施することで、スポーツ事業の企画・運営等を行う地域スポーツの担い手の確保・育成に努めた。</p> <p>(1) 町スポーツ協会への委託大会 7大会 ※2大会がコロナ禍の影響で中止</p> <p>3 少年スポーツ団体の育成支援                      スポーツ少年団等の活動を支援し、次世代のスポーツ推進の担い手の育成に努めた。</p> <p>(1) スポーツ少年団等育成事業費補助金（15団体） 750,000円                      (2) スポーツ少年団陶街道ゆとり公園武道場利用補助金（4団体） 387,500円                      ※ 町スポーツ少年団等 15団体</p>					
自己評価	B	評価理由	コロナ禍の影響によりスポーツの機会が減少したものの、開催した大会やスポーツ少年団等の活動の中で、スポーツ推進委員やスポーツ協会と連携協力して、スポーツ指導者等の担い手育成を図った。			
方向性	維持					
課題と取組み	部活動の地域移行に対応できる指導者の確保が求められている。指導者を確保し育成するため、指導者資格の取得を支援するとともに、町スポーツ協会と連携して指導者の育成を図る。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係																								
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。																												
主要施策	スポーツを通じた交流の拡大																												
事業No.	38	事業名	レクリエーションスポーツ推進事業	決算額	277,686円																								
事業目的	住民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ事業に参加し、住民同士の交流を深める機会を提供する。																												
取組内容及び成果	1 クロケット大会 事業費：24,531円 開催日 6月5日(日) 開催場所 ひろた町民グラウンド、陶街道ゆとり公園多目的広場 参加者 17チーム 61人																												
	2 スポーツまつりinとべ 事業費：214,056円 開催日 10月9日(日) 開催場所 陶街道ゆとり公園(多目的広場・体育館・グラウンドゴルフ場) 参加者																												
	<table border="1"> <tr> <td>綱引き</td> <td>16チーム</td> <td>158人</td> </tr> <tr> <td>小学生の部</td> <td>8チーム</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>一般男子の部</td> <td>3チーム</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>一般女子の部</td> <td>5チーム</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>ペタンク</td> <td>35チーム</td> <td>105人</td> </tr> <tr> <td>グラウンドゴルフ</td> <td>14チーム</td> <td>78人</td> </tr> <tr> <td>スポーツウエルネス吹矢</td> <td>7チーム</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>参加者合計</td> <td>72チーム</td> <td>364人</td> </tr> </table>					綱引き	16チーム	158人	小学生の部	8チーム	72人	一般男子の部	3チーム	30人	一般女子の部	5チーム	56人	ペタンク	35チーム	105人	グラウンドゴルフ	14チーム	78人	スポーツウエルネス吹矢	7チーム	23人	参加者合計	72チーム	364人
	綱引き	16チーム	158人																										
	小学生の部	8チーム	72人																										
	一般男子の部	3チーム	30人																										
	一般女子の部	5チーム	56人																										
	ペタンク	35チーム	105人																										
	グラウンドゴルフ	14チーム	78人																										
	スポーツウエルネス吹矢	7チーム	23人																										
参加者合計	72チーム	364人																											
3 ウォークラリー大会 事業費：39,099円 開催日 3月5日(日) 開催場所 宮内小校区 参加者 16チーム 76人																													
自己評価	B	評価理由	実施した3大会では合計501人の参加があった。コロナ禍においても感染対策を実施し住民の相互交流の機会を提供した。																										
方向性	拡大																												
課題と取組み	地域のレクリエーションスポーツ活動が衰退している。地域でニュースポーツの講習会を実施するとともに、現行大会への参加者の拡大を図り、地域コミュニティの活性化を図る。																												

# 令和5年度【令和4年度事業】砥部町教育委員会点検評価報告書

## －外部評価意見－

令和5年8月21日

評価者：古田 章

### ◆未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します。

主要施策	子どもを産み育てやすい環境整備
------	-----------------

#### 【意見】

- 就学援助事業 … 今日の多様な家庭の状況において、就学援助を必要とする保護者が円滑に手続きを行えることは重要である。保護者への説明機会を捉えた丁寧な説明や周知など、これまでの課題を踏まえた工夫が行われており今後も継続して取り組んでいただきたい。
- 教育活動支援事業 … 児童生徒の集団学習活動や生徒の部活動における大会参加の状況から十分な支援の成果があったと思われる。今後も保護者の経済的負担を軽減するとともに、児童生徒が参加しやすい環境の充実に向け継続していただきたい。
- 奨学資金貸与事業 … 近年、経済的な理由からの進学格差を解消するため奨学金制度の充実が求められている中、この事業では9人の生徒が採用され、就学の支援による人材の育成が図られた。適正な償還管理がなされており、今後も有効な活用を継続していただきたい。
- 幼児教育推進事業 … コロナ禍で培った感染対策を適切に施しながら行事等の充実に努めることで、園児の笑顔が広がりより良い心身の発達につながったことが容易に推測できる。幼児教育の期間は、園児とともに保護者も学び成長するときでもあり、行事への参加や機会を捉えた情報交換などの工夫で連携した保育が進められていることは重要である。今後も小学校への円滑なつなぎのため、タブレットを活用した教育の推進に取り組んでいただきたい。

主要施策	子どもの健やかな成長支援の充実
------	-----------------

#### 【意見】

- 保健対策事業 … 学校医・学校薬剤師を確保し、健康診断を適切に実施して児童生徒が心身ともに健康に学校生活を送ること、さらに安全な行事の実施や小児生活習慣病など病気の予防につなげること等、効果を上げている。また、教職員の健康診断におけるストレスチェックの実施や全小中学校での思春期教室の開催は、現在の学校を取り巻く環境において極めて重要なことである。特に性教育をはじめ思春期教室については、県立医療技術大学との連携を深め、継続して取り組んでいただきたい。

- 特別支援教育推進事業 … 特別支援教育の充実はますます重要性を増している状況にある中、巡回相談や特別支援連携協議会などにおいて内容の充実が見られ、特別な支援が必要な児童生徒と保護者に寄り添う体制がとられている。今後も継続して相談事業や学校生活支援員の配置の人材を確保し、個に応じた適切な支援とすべての子どもが共に学び合うインクルーシブ教育の推進に取り組んでいただきたい。
- 運動・体力向上推進事業 … 各学校での体力向上推進計画による体力づくり活動のほか、コロナ禍を乗り越えて小学校水泳大会・陸上大会等が開催されるなど、子どもたちが練習に励んで最後までやり抜く感動を体験できたことは大変有意義である。中学校における持続可能な運動部活動の方針に基づく活動においても生徒のたくましい心と体が育っており、大会で躍動した。一方、家庭生活では運動不足が全国的にも言われており、町全体での体力づくりの啓発やえひめ子どもスポーツ I T スタジアムの活用など、積極的に取り組んでいただきたい。
- 地域の特性を生かす教育推進事業 … 子どもたちが伸びやかに成長するためには、体験活動が欠かせない。ふるさと砥部町は豊かな自然や伝統・文化に恵まれており、各学校が地域に根ざした特色ある教育活動を実践して体験活動の充実に努めている。今後も各学校の特色ある学校づくりを推進するため、助成の継続が必要である。

主要施策	生きる力を育む教育の推進
------	--------------

**【意見】**

- キャリア教育推進事業 … 一人一人が生涯を考え、自己と働くことを結び付けながら必要な能力や態度を身に付けていくことを促すキャリア教育の実践として、愛媛県が推進する中学生のえひめジョブチャレンジ U-15 は大きな成果を上げている。砥部町での取組では前年度に比べ協力事業所が3倍近くにも増え、中学2年生の貴重な体験が行われたのは関係者の努力の賜物であろう。見学や手伝いレベルの体験ではなく本物の労働を実感し、役に立つ喜びを味わうための5日間である。今後もより一層、地域の事業所への理解促進を図り一体となって活動の充実を目指していただきたい。
- 学校給食運営事業 … 適切な施設管理と事業の運営により、安心・安全で美味しい給食が提供されており、子どもたちは給食の時間を楽しみにしている。町内産物資の購入額が大きく増えるなど、地産地消の取組も着実に進んでおり今後も継続していただきたい。

主要施策	教育力の向上
------	--------

**【意見】**

- 校務支援・業務改善事業 … 教職員が児童生徒に向き合う時間を確保するためにも、教職員が持つ校務の支援や業務の軽減は必須であり、スクール・サポート・スタッフ配置事業の拡大やデジタル化の推進など、今後もより一層のサポート・改善が望まれる。
- 教職員研修促進事業 … 校内研修会や各種研修会など、内容が吟味された研修機会により教職員の資質・能力の向上が図られている。オンラインネットワークを活用し、リモートやハイブリッド型の研修会を適宜導入することで効率化も見込まれる。
- 学力向上推進事業 … 学力向上推進委員会の取組として、先進校視察の報告会を行って各校の授業研究につなげたり、学力診断テストの結果を分析して効果的な指導を各校で実践したりするなど努力がなされている。今後も地道に継続することが大切と考える。
- 情報教育推進事業 … GIGA スクール構想への対応として新たに、新聞アプリや愛媛県学習支援システム (EILIS) が導入された。また遠隔授業の環境整備も進められた。今後もこれらが十分に活用されることで、情報活用能力の育成や効率的な学習活動の実践につながる。
- 外国語教育推進事業 … 外国語指導助手の学校等への派遣は、担当教員との連携により外国語活動や英語教育・国際理解教育はもとより、子どもたちが触れ合うことで興味関心が高まり成果を上げている。中学生の英語検定へのチャレンジでは全体の合格率は向上しており、今後は上位級にチャレンジするサポートのさらなる充実が望まれる。
- いじめ・不登校等対策事業 … いじめ・不登校等に関する施策はますます重要な課題になっている。学校だけでは解決できないものとして捉え、相談員やスクールソーシャルワーカーなどの専門家の配置と柔軟で横のつながりのある相談や支援が行われていることは重要である。サポートルームの設置など不登校の児童生徒の状況に応じた支援体制の充実と併せて、今後も継続していただきたい。
- 山村留学センター運営事業 … 小学生が豊かな自然環境の中で伸び伸びと生活し、体験活動や集団生活から優しさとたくましさを育むこの事業は、県内に類を見ない貴重なものであり、同時に過疎化により児童数が減少している広田小学校区では、小規模校ならではの特色ある学校づくりの実現に大きく寄与している。今後も継続していくべき事業である。
- 学校間連携推進事業 … 町内の各学校と教育委員会が情報を共有し連携を密にすることで、砥部町の学校教育の基本方針に基づいた各校の学校経営が、より円滑に行われることにつながっている。共同学校事務室の運営は、的確で効率性の高い学校事務を実現している。

主要施策	安全・安心の充実した教育環境の整備
------	-------------------

**【意見】**

- 学校施設整備・維持管理 … 子どもたちが伸びやかに成長する場として、常に安全で安心

な学習環境を整備・維持することが重要である。毎年度、計画的に進められており、今後も衛生設備の改修等、迅速な対応と計画的な整備の実現に努めていただきたい。

- 学校安全対策事業 … 学校、教育委員会、関係諸機関が連携して、砥部町通学路安全対策プログラムが実践され、通学路の危険個所の対策を講じ実施率が96%に及んでいる。防犯ブザーの配布や青色防犯パトロールをはじめとする児童生徒の見守り活動を含め、今後も子どもたちの安全な通学の実現のため継続して取り組んでいただきたい。
- 感染症対策事業 … 新型コロナウイルス感染症の感染対策として、効果的な備品や消耗品を活用し必要な対策が円滑に実施された。これまでの知見を生かし、今後も様々な感染症対策に活用することができる。

◆身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。

主要施策	ニーズに合わせた学習機会の充実
------	-----------------

【意見】

- 国際交流事業 … ショパンビレッジフェスティバル in 砥部町においては、世界的なピアニストによるピアノ演奏などに多くの来場者が酔いしれ、町民が一流の音楽に触れる貴重な機会として成果を上げた。国際交流の機会を提供すること、本物の芸術・文化に触れる場を提供することは国際理解のみならず、心を豊かにするものであり今後も継続していただきたい。
- 公民館活動事業 … 公民館活動は地域住民のコミュニティとして、ひいては地域の活性化にも大変重要な役割がある。中央公民館や各地区公民館が感染対策を施しながら活動を再開するとともに、硬直化を打破するよう魅力ある事業に取り組んでいることは、とても意義深い。今後も、若年層が集える工夫を含め知恵を絞って楽しく取り組んでいただきたい。
- 読書活動推進事業 … 新たな取組として導入した電子図書館は、変化する社会に対応する取組であり、ニーズの把握や内容の充実、利用啓発により今後も効果の拡大が期待できる。

主要施策	活動の場づくりと担い手の充実
------	----------------

【意見】

- 公民館施設管理 … 生涯学習の場として必要不可欠な施設であり、積極的に開館し提供されていることは大切である。今後も感染防止の対応を施しながら、住民が積極的に活用できるように呼び掛けていただきたい。
- 青少年健全育成事業 … 青少年育成センターの登校指導や街頭指導による見守り・非行防

止の活動、とべっ子志縁倶楽部による放課後学習支援や登下校の見守り活動は、子どもたちの健全育成に大きく貢献しており、関係者の方々に頭が下がる思いである。また、前年度にリーダー養成から取り組んだとべの里冒険クラブの立ち上げは、大変意義深い。活動を通してさらにリーダーとしての自覚と資質が増したと思われる。さらに高校生・大学生を対象にしたボランティアリーダー養成事業を実施して継続性と発展性のある取組がなされており、今後の成果が楽しみでならない。

主要施策	互いの人権を尊重する社会の構築
------	-----------------

【意見】

- 人権教育・人権対策推進事業 … コロナ禍は人権教育の推進・啓発の活動を大いに妨げた  
が、その間にも新たな人権問題が起きるなど、ますます人権教育の推進が重要になった。人  
権教育基礎講座の実施に加え、人権教育巡回学習会が 18 地区 260 人の参加を得て開催でき  
たことはとても明るい材料である。今後も地域住民に地道に働きかけ、参加者が課題意識を  
持ち、差別解消に向けて意欲が沸き、そしてその手だてと明るい未来が見えるよう、実践を  
積み重ねていきたいものである。

主要施策	男女共同参画の推進
------	-----------

【意見】

- 男女平等教育の推進 … 前年度までの女性団体育成事業をさらに充実させ、伊方町の女性  
団体との交流事業を実施して意見交換をしたり、女性の人権に関する研修会を実施して女性  
の人権について考えを深めたりするなど、男女平等教育の取組に深化している。今後も女性  
団体の活動を支援し、男女共同参画社会の実現に向けた取組につなげていただきたい。

主要施策	文化財保護と継承
------	----------

【意見】

- 文化財保護事業 … 文化財保護審議会により指定候補物件の調査・研究が行われ、新たに  
坂本窯跡が埋蔵文化財包蔵地として指定されている。また、松野町への視察研修の実施、総  
森三島神社拜殿の修繕に文化財保存顕彰事業費補助金を交付するなど、文化財保護に積極的  
に取り組んでいる。さらに愛媛大学との連携により砥部焼の歴史・文化の調査研究が進展し  
ており、今後もふるさと砥部町の貴重な財産の保存と継承に努めていただきたい。

主要施策	文化財の活用
------	--------

【意見】

- 文化財への理解促進 … 歴史講座の開催では、城址からみる砥部の歴史として現地視察を取り入れるなど、体験できる内容の工夫が見られる。今後も、文化財めぐりなどの体験的な活動や興味深いテーマの策定など魅力ある学習機会の提供を継続していただきたい。
- 坂村真民記念館 … 開館11年を迎え、来館者による真民詩ベスト15を展示するなどPRや企画展の実施があり、来館者を楽しませた。また、来館者が10万人に達してイベントが行われている。全国にファンを持つ坂村真民であり、今後も坂村真民記念館を真ん中にして広く情報発信ができるよう継続して取り組んでいただきたい。

主要施策	地域伝統文化の継承
------	-----------

【意見】

- 地域伝統文化保存伝承事業 … 地方の時代・文化の時代と呼ばれる今日、ふるさと砥部町の各地域固有の個性豊かな伝統芸能や祭りは次世代につなぎたい財産であり、これらの伝承活動は地域間の交流を活性化するとともに身近な地域を見つめ直し活力を生むきっかけにもなる。砥部町においては、活動団体への補助金交付を継続的に行って支援するだけでなく、高齢化によるマイナスな要因を直視して伝統芸能や祭り・地域行事の調査と記録に取り組んでいることは、特筆されるべきものである。仮にこの取組をもとに活用計画を策定することになれば、新たな伝承の動きを起こす期待が高まる。今後も調査・記録作成の充実、後継者の確保・育成と公開の機会の充実、伝承・発展のための拠点の充実という視点で、民間企業の手も取り入れるなどハード・ソフト両面での支援を継続することが考えられ、町おこし・地域おこしにつながることに期待が高まる。

◆文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。

主要施策	文化・芸術活動への参加促進
------	---------------

【意見】

- 文化会館管理運営 … 砥部町文化会館は開館当初から高く評価され、砥部町の周辺市町を含めて幅広く活用されてきた。コロナ禍を乗り越え、充実した文化会館事業により多くの利用実績を上げている。今後も町民の潤いのある生活の拠点として、計画的な修繕と適切な維持・管理を継続していただきたい。

主要施策	文化・芸術活動を通じた交流の推進
------	------------------

【意見】

- 学習発表会 … 生涯学習の発表の場であり、他の活動団体や学習者の交流の場としても大変重要な機会である。今後も参加者や一般参観者にとって楽しく有意義なものになるよう、工夫を継続して取り組んでいただきたい。

主要施策	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
------	----------------------

【意見】

- 社会体育推進事業 … 町民がスポーツに親しみ、体力づくり・健康づくりと交流の場となる各種の大会が感染対策を施しながら開催され、前年度以上の参加者があった。今後もニュースポーツの普及イベント等、様々な種目で幅広い年齢層に啓発を継続することで活性化が期待できる。
- 社会体育施設管理 … 社会体育施設や公園は、町民が安全で快適にスポーツ活動ができる場として大きな役割を果たしており、それぞれの施設で前年度を大きく超える利用があった。今後も計画的な改修や整備を実施し、管理上の問題で事故が起きないように適切な運営を継続していただきたい。

主要施策	地域における指導者の確保及び育成
------	------------------

【意見】

- スポーツ指導者確保及び育成 … スポーツ推進委員が各種体育事業の運営やスポーツの普及・指導の核となって活動されている。さらにはスポーツ協会の専門部会などと連携した地域スポーツの運営を通して、地域の担い手として指導者の育成に取り組んでいることは大切である。部活動の地域移行が推進される中、子どもたちが生き生きとスポーツに取り組めるよう、今後も官民一体となって指導者の確保・育成に取り組んでいただきたい。

主要施策	スポーツを通じた交流の拡大
------	---------------

【意見】

- レクリエーションスポーツ推進事業 … スポーツ系レクリエーションには、種目が豊富で

選びやすい、参加者同士のよい関係・つながりができる、仲間意識や協調性が高まりチーム力が上がる、目標に向かって一致団結することで結束力が生まれる、などのメリットや効果がある。また、勝敗にこだわらずレクリエーションとして気軽に楽しみながら運動し、仲間や家族と笑顔で心地よい汗を流し健康的になることは、老若男女を問わず大切である。今後もニュースポーツの普及など参加者の拡大に努めることで、明るく健康的な町づくりに夢が広がる。